

# 若年層の自殺対策に関する緊急提言

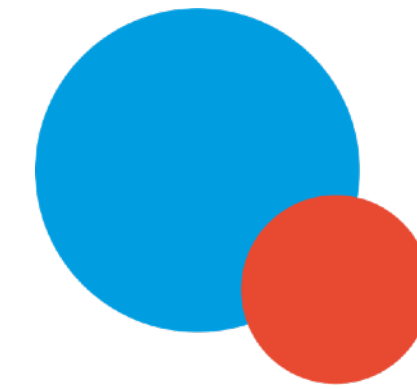
令和5年5月19日 @こどもの自殺対策に関する関係省庁連絡会議

NPO法人あなたのいばしょ

大空 幸星

NPO法人

あなたのいばしょ



あなたのいばしょ

ibashoChat.org

SUSTAINABLE  
DEVELOPMENT  
GOALS



24時間365日、誰でも無料・匿名で利用できるチャット相談窓口

設立以来、相談件数は641,999件、うち7割が29歳以下の若年層(令和5年5月12日時点)

世界28カ国に約700名の相談員を抱え、時差を活用した相談支援体制を確立

相談データの分析・研究を推進しており、エビデンスに基づいた支援を実施



# 若年層の自殺対策

## 3原則

- 「こども」だけではなく大学生等を含めた「若年層」への包括的な対策
- 過去の政策検証と若年層の実態に基づいた対策
- あらゆる機会を若年層の自殺対策に活かす

## 主な課題

- ・若年層が電話を使っていない中での電話相談を中心とした支援＝電話相談中心主義
- ・行政の縦割りにより1人1台端末では使えないSNS(LINE等)を用いた相談窓口が増加
- ・相談窓口の拡充＝相談応答率の向上のために使える予算が少ない
- ・SNS事業者の自主性に委ねざるを得ず、対策の実効性が乏しい
- ・既存の自殺統計原票ではLGBTQを含めた若年層の実態を把握することが困難

# 過去の政策検証に基づく新たな支援

## スティグマ対策

### 概要

すでに問題を抱えて困窮状態にあったり、精神的に追い込まれている方（重症化）への支援制度の充実および相談窓口の拡充等の受け皿の拡大がこれまでの政策の中心。こうした支援や窓口の利用を阻んでいる「スティグマ（汚名・負の烙印）」の軽減が必要。

### 具体例

#### 【スクールカウンセラー配置箇所】

平成7年 . . . . . 154箇所

令和4年 . . . 30,479箇所  
(計画)



約200倍

#### 【小中高生の自殺者数】

平成7年 . . . . . 139人

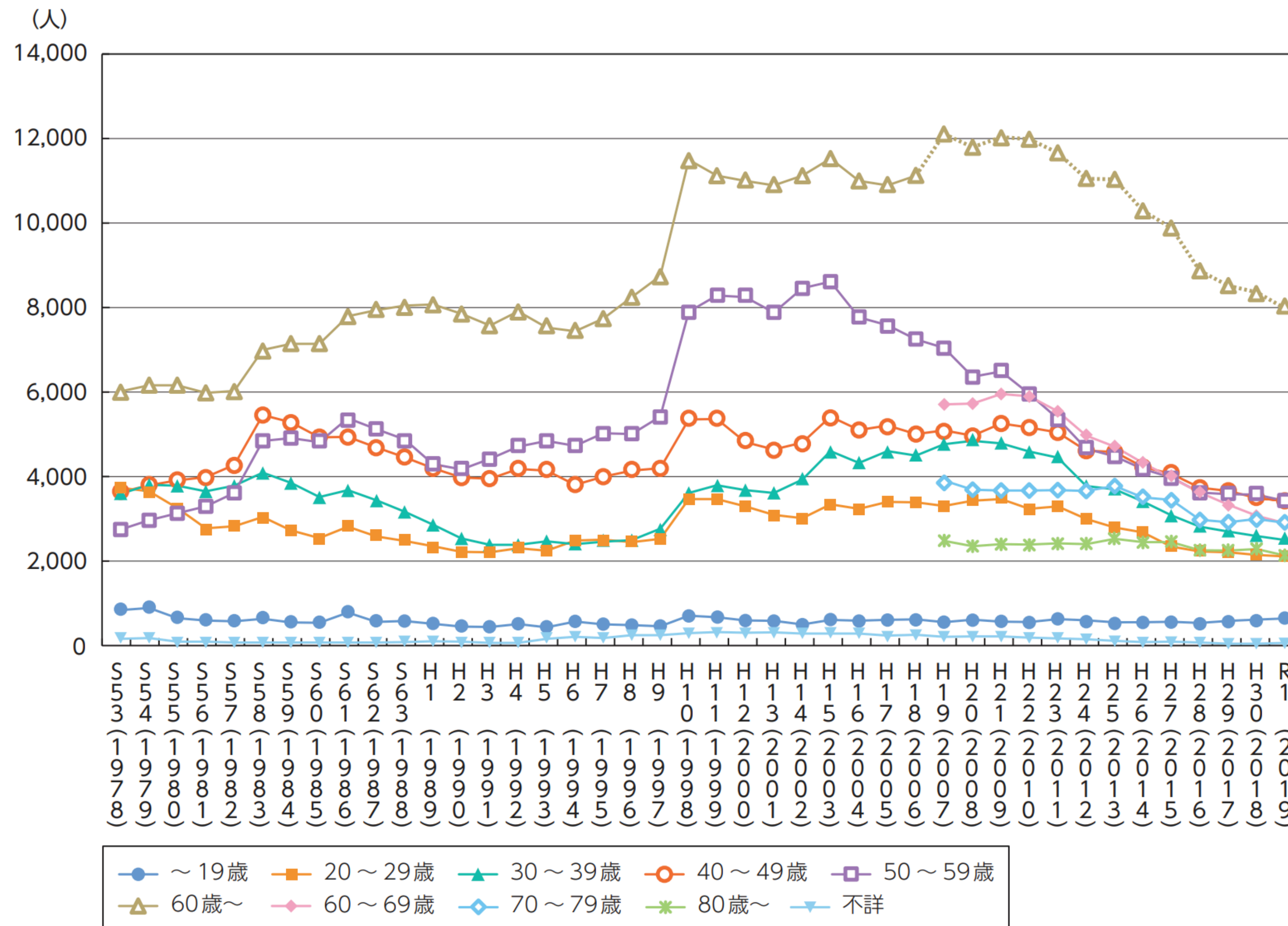
令和4年 . . . 514人



3.7倍



# なぜチャット相談なのか



注) 平成18年までは「60歳以上」だが、19年の自殺統計原票改正以降は「60~69歳」「70~79歳」「80歳以上」に細分化された。

資料：警察庁「自殺統計」より厚生労働省自殺対策推進室作成

## 10代の1日の平均利用時間

総務省情報通信政策研究所「令和元年度 情報通信メディアの利用時間と情報行動に関する調査」

携帯電話

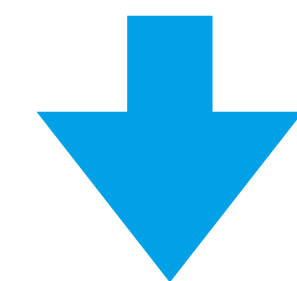
3.3分

固定電話

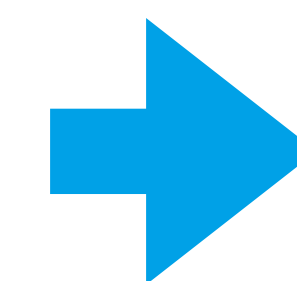
0.4分

SNS

64.1分



全年齢層で減少傾向にあるなか、19歳以下は横ばい、**ないしは増加**している。



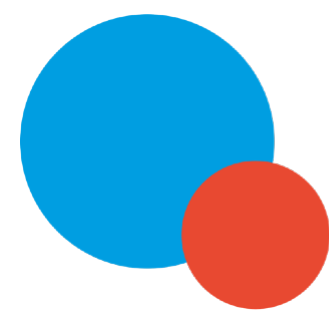
電話を中心とした支援体制  
以外のアプローチが必要。

# 若年層の自殺対策に関する緊急提言

- 教育機関におけるストレスチェックの義務化(SOSを出さなくても良い)
- 「広域的」な匿名相談窓口の拡充支援(複数年助成)
- 1人1台端末を活用した相談支援に関する実態把握と支援の推進
- いじめ重大事態を含めた詳細調査の外部有識者が学識者や弁護士等に限られているため、同年代の登用を推進する
- 一定の期間に限り、若年層の自殺事案の「全て」において外部有識者による詳細調査を実施
- 民生委員・児童委員改革を含めた地域における学校でも家庭でもない第三者による支援の展開



## 「マイナス」から「ゼロ」へ



あなたのいばしょ

I b a s h o C h a t . o r g

- ・ 支援制度(生活保護・給付金等)
  - ・ 支援機関(自立相談支援機関等)
  - ・ カウンセリング
  - ・ ハローワーク
- etc.



死にたいです

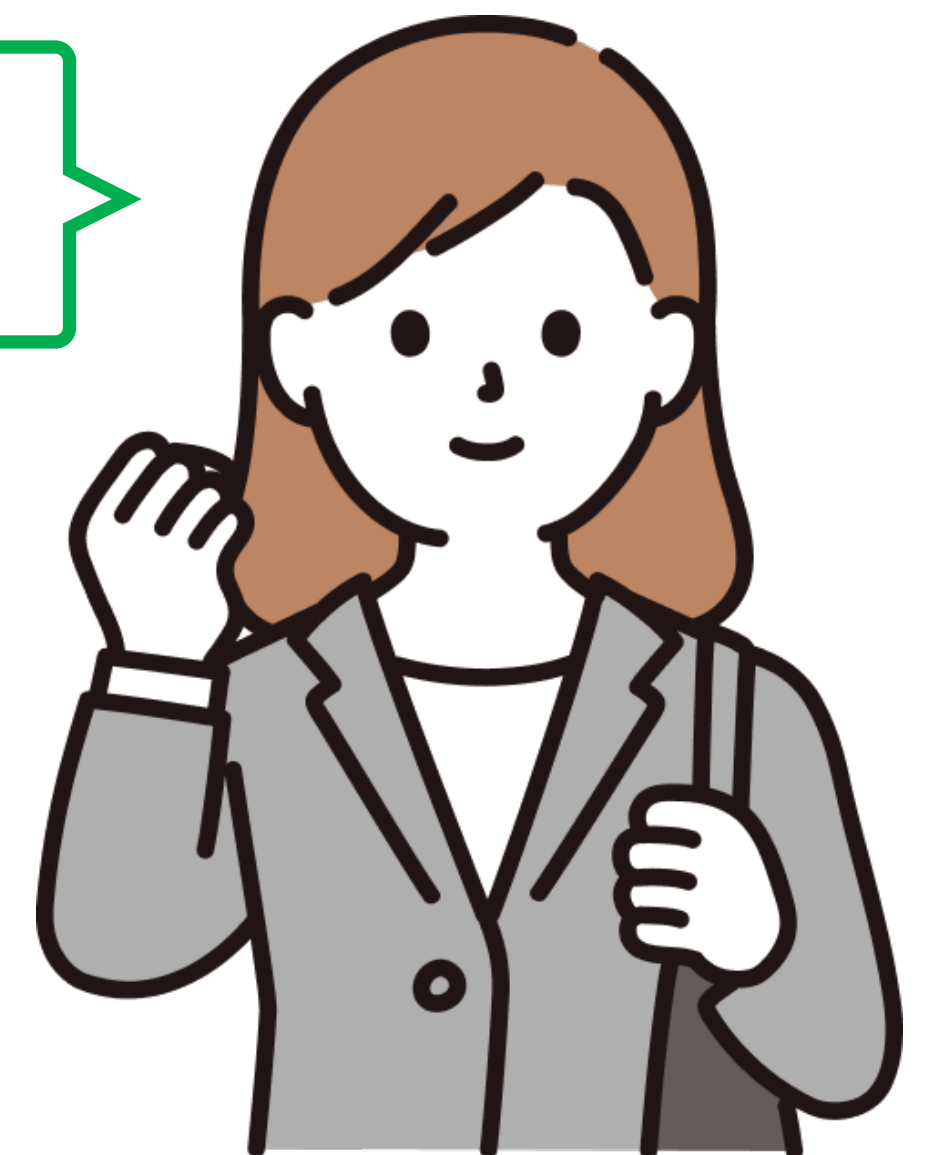
マイナス



とりあえず  
生きてみます

ゼロ

がんばるぞ!!



プラス

# Appendix



理事長

おおぞら      こうき  
大空      幸星

拙著



Twitter

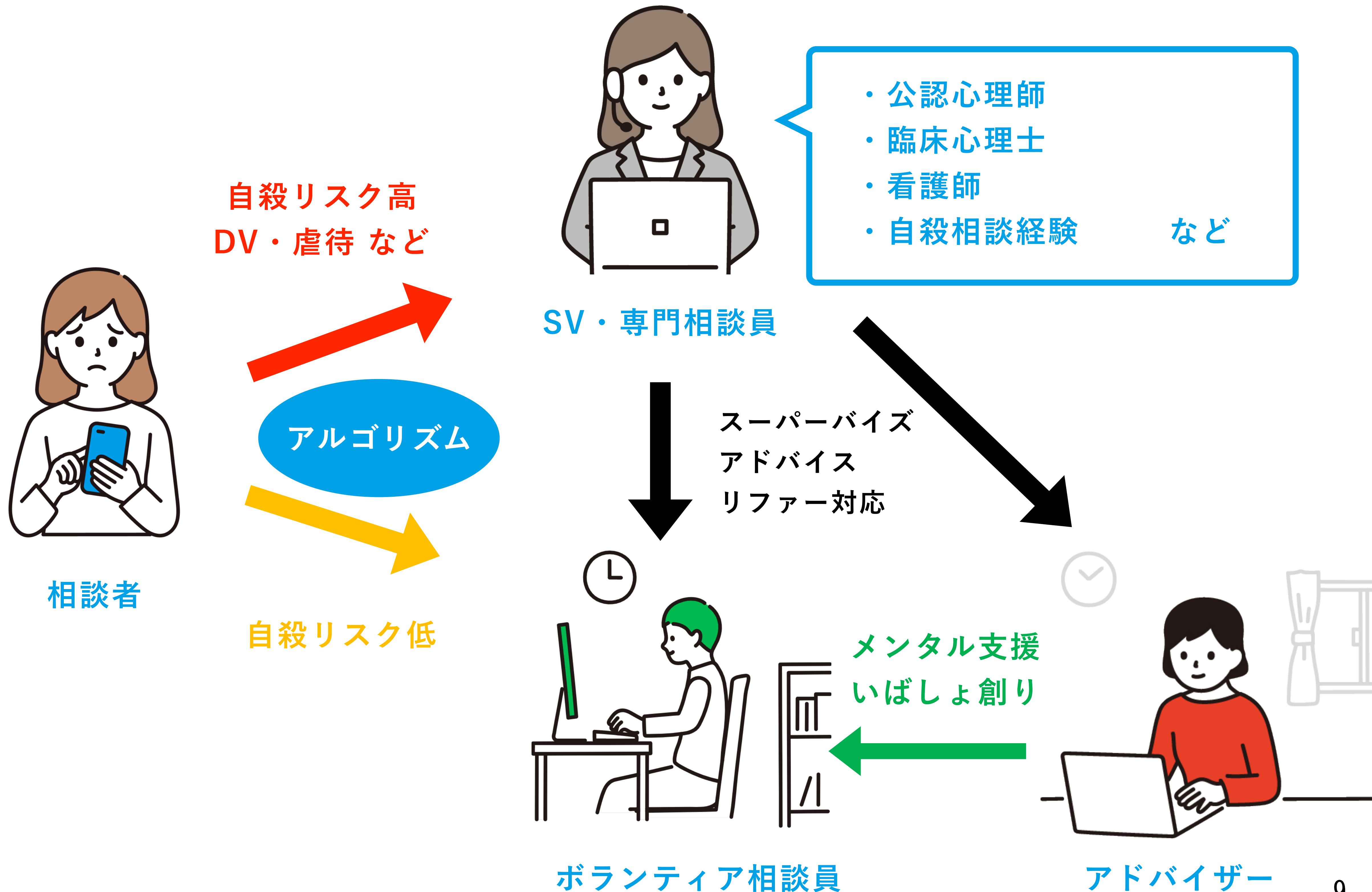


1998年、愛媛県・松山市出身。慶應義塾大学総合政策学部卒業。24歳。

内閣官房孤独・孤立の実態把握に関する研究会構成員、こども家庭庁こども  
家庭審議会こどもの居場所部会委員、東京都こども未来会議委員 等

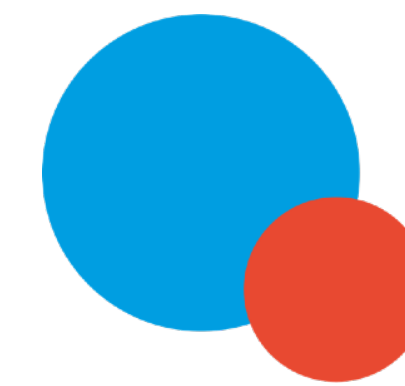
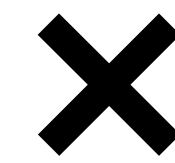
フジテレビ「めざまし8」SPキャスター、Abema「アベプラ」MC 等

# あなたのいばしょの仕組み





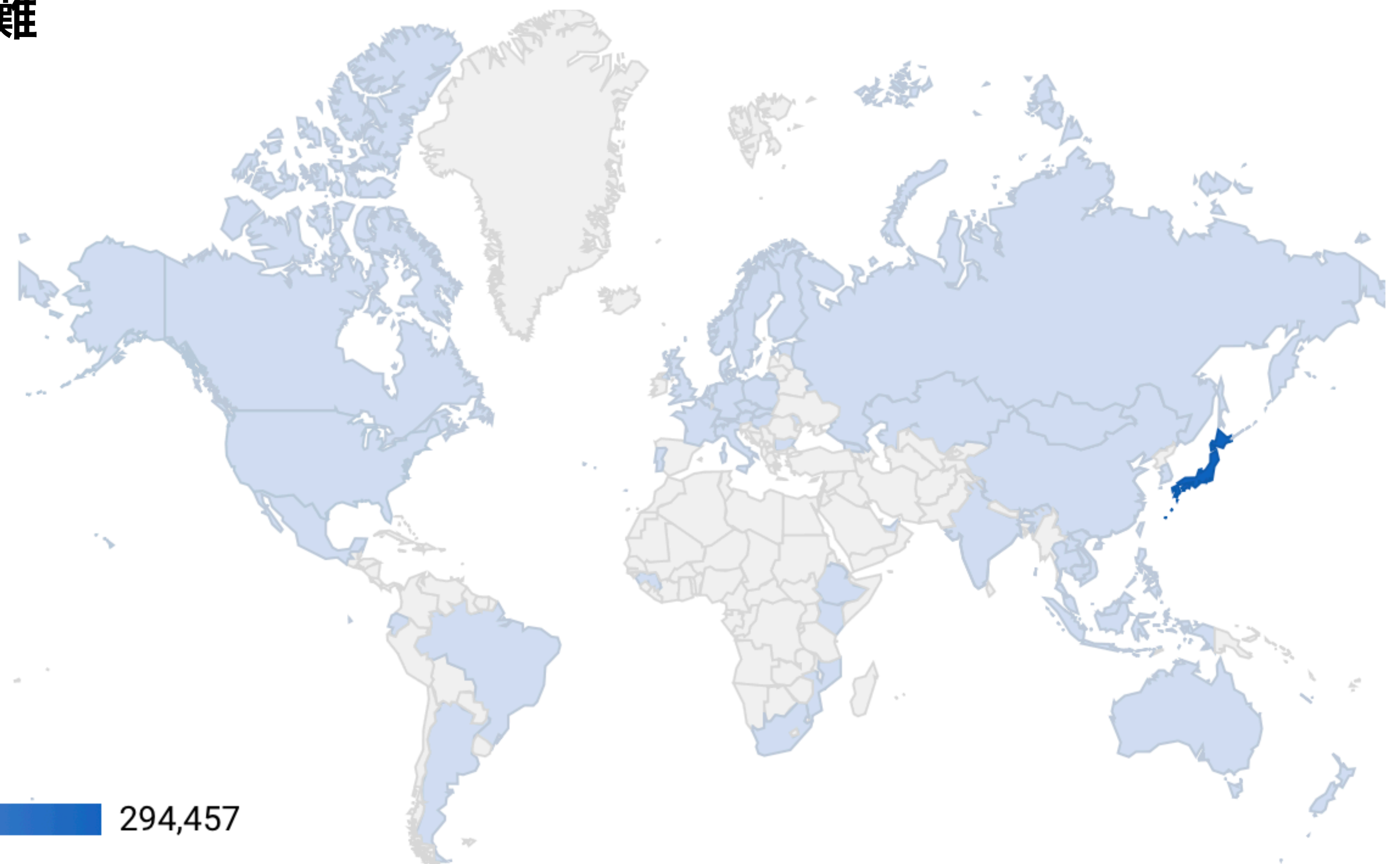
# 世界中の日本人に支援の手を



あなたのいばしょ  
I b a s h o C h a t . o r g

2021年7月から外務省と連携し、約130万人の在外邦人に対し、当団体の窓口を広報

- ・ 在外邦人の死因2位が自殺 外務省調べ(2019年)
- ・ 日本国内の電話相談利用が困難
- ・ 言語や文化の壁
- ・ 環境の違い等によるストレス



# 電話相談との違い

時間・場所的制約を受けず、その場で相談できる

## 電話相談

周囲に人のいる公共空間や、家族などの同居人のいる部屋において電話することは非現実的。

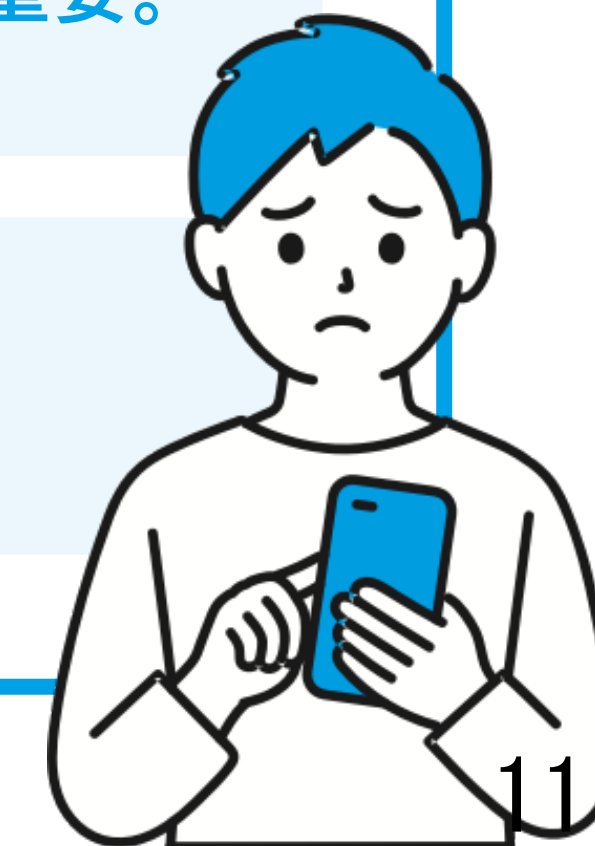
携帯を親から買い与えられていない若年層等は利用することが困難



## チャット相談

周囲を気にせず相談できる→うつ状態の症状は強弱をもって押し寄せてくる波。その場で相談できる環境が重要。

仮に繋がらなくても、自分の気持ちを書き出すことで問題解決につながる。





# 基本的な考え方 - 川の流れのように

対症療法

支援現場  
(NPOの活動領域)

- ・ 死にたい
- ・ 慢性的な孤独
- ・ 消えたい

下流

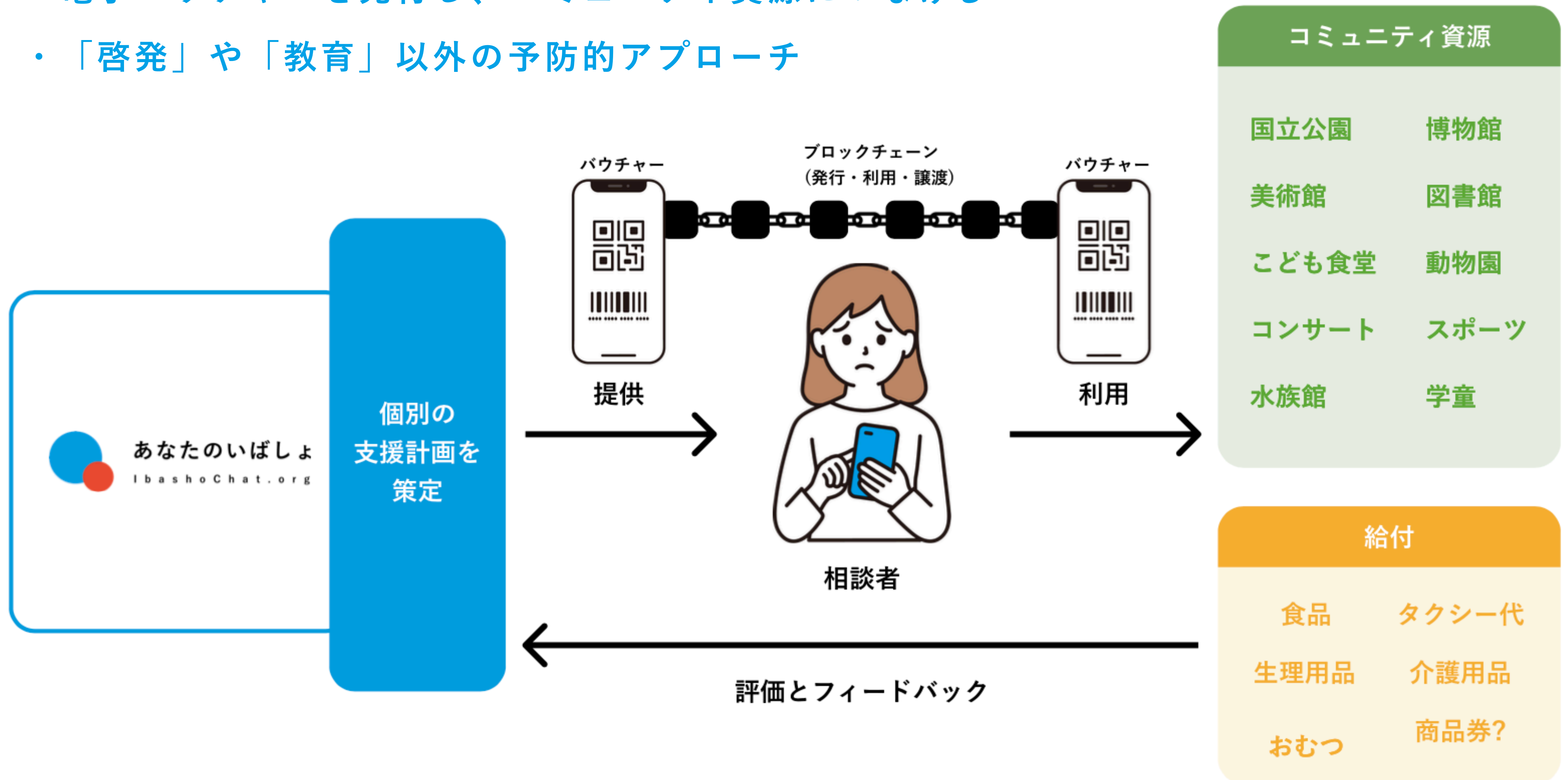
上流

- ・ 小さな悩み
- ・ もやもや
- ・ ひとりぼっち  
など

予防的施策

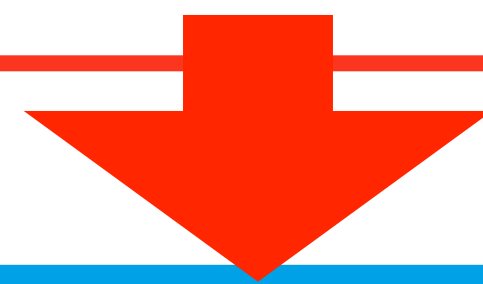


- ・薬ではなく「つながり」や「文化(芸術・自然等)」を処方する
- ・自然や芸術等のコミュニティ資源は心の回復力(resilience)向上&孤独感軽減
- ・電子バウチャーを発行し、コミュニティ資源につなげる
- ・「啓発」や「教育」以外の予防的アプローチ



# 子ども・若者サポーターの創設について

- 民生委員・児童委員の88.7%が60歳以上であり、高齢化が深刻
- しかし「子どもの地域生活」に関する相談が増加している
- 虐待の通告件数・不登校・子どもの自殺者数などが過去最多
- 100年続いた「日本らしい繋がりの仕組み」を維持する必要がある

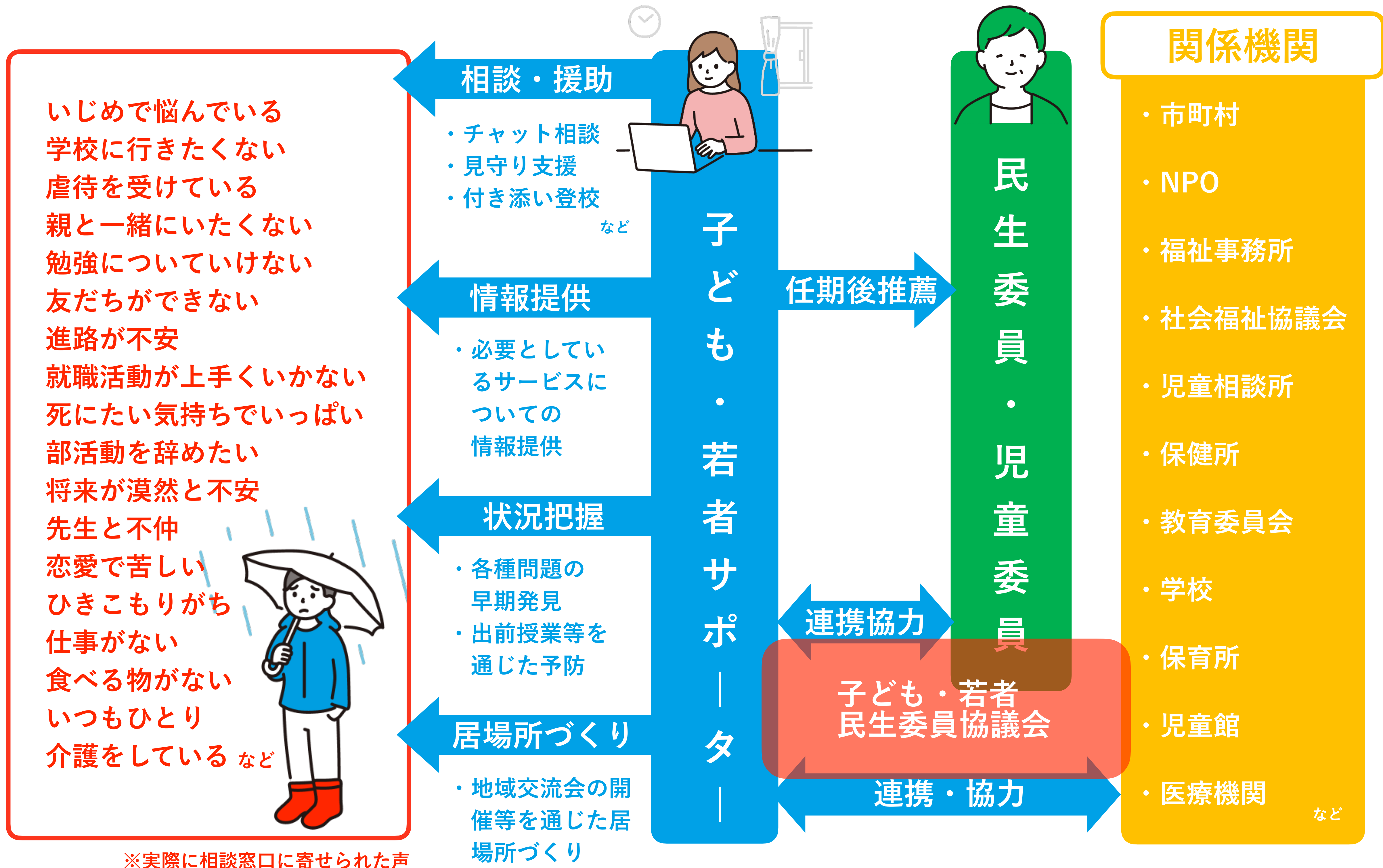


## 子ども・若者同士が支え合える仕組み「子ども・若者サポーター」を設置

- 支援対象者は小学生～20代前半を想定
- 子ども・若者サポーターは18歳以上30歳未満を想定
- 活動にあたってはICT端末を活用し、支援や相談・情報提供にあたってはチャット相談の仕組みを活用
- 支援対象者の情報は、デジタル庁の「子ども情報連携(データベース)」で管理し、関係機関と連携
- 就職活動の際のインセンティブとしたり、教員免許取得要件とすることで、人材を安定的に確保する
- 任期満了後は、民生委員・児童委員として推薦できるようにし、民生委員の担い手不足の解消を目指す



# 「DXの崖」を作らない。



# 手足となるNPOの課題

## ①活動の定量的評価

公金も投入されるNPOの活動を社会がどのように定量的評価するかが課題。NPO分野ごとのアウトカム指標の策定やロジックモデルの構築等を内閣府において推進する必要がある。

## ②社会におけるNPOの地位向上(叙勲問題)

多くのセーフティーネットを担っているにも関わらず、低賃金・重労働・高齢化・人手不足が慢性化。そして社会からは「悪者扱い」される。NPO法人やその代表者等に対する叙勲は極めて少ない。

## ③単年助成からの脱却

あらゆる助成金が単年度契約であり、人を雇用できない。公的セクターや政府調達に参加する企業で働く人の賃金を引き上げるという政府の方針の前に単年助成から複数年助成の拡充が必要。

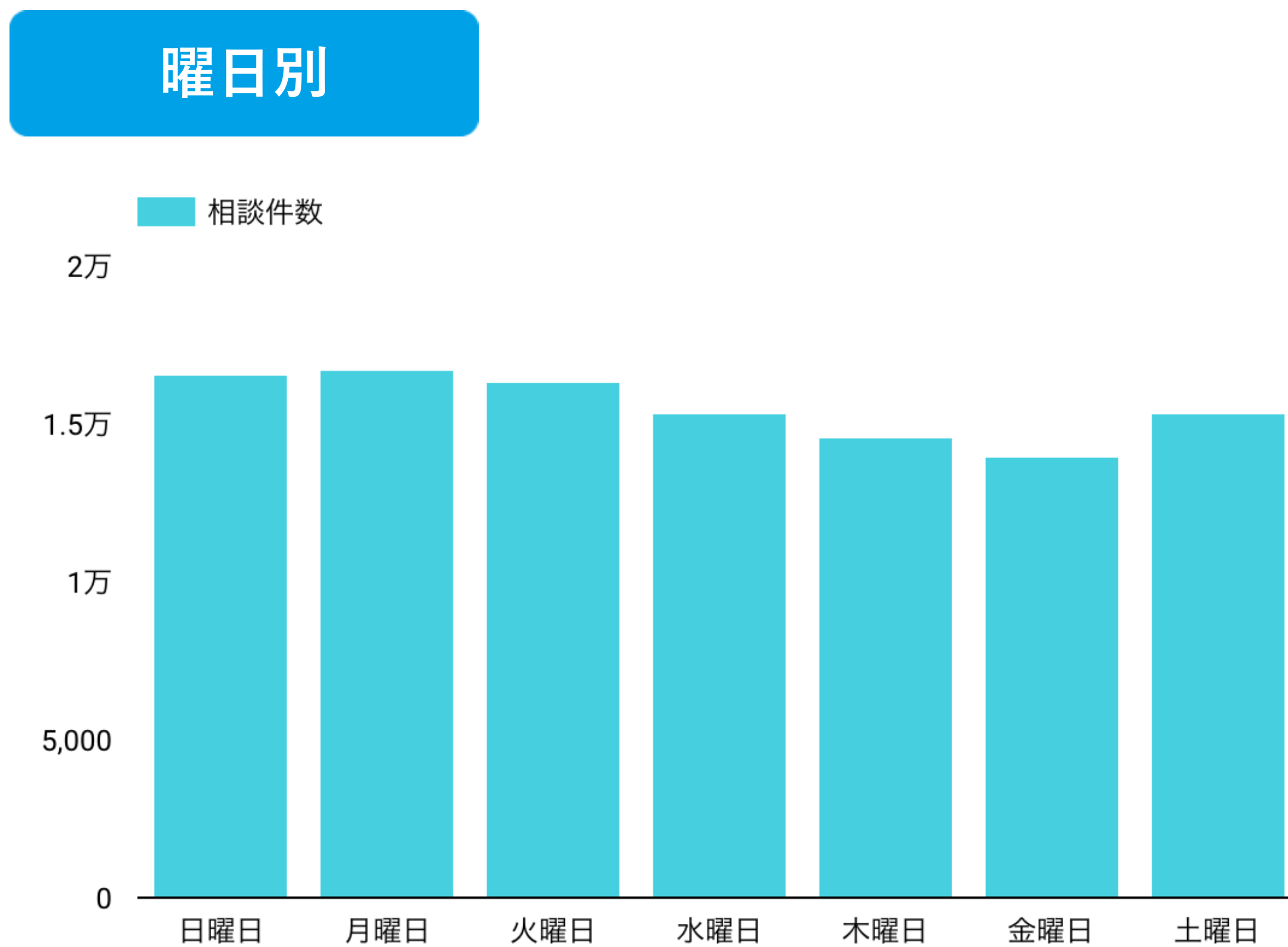
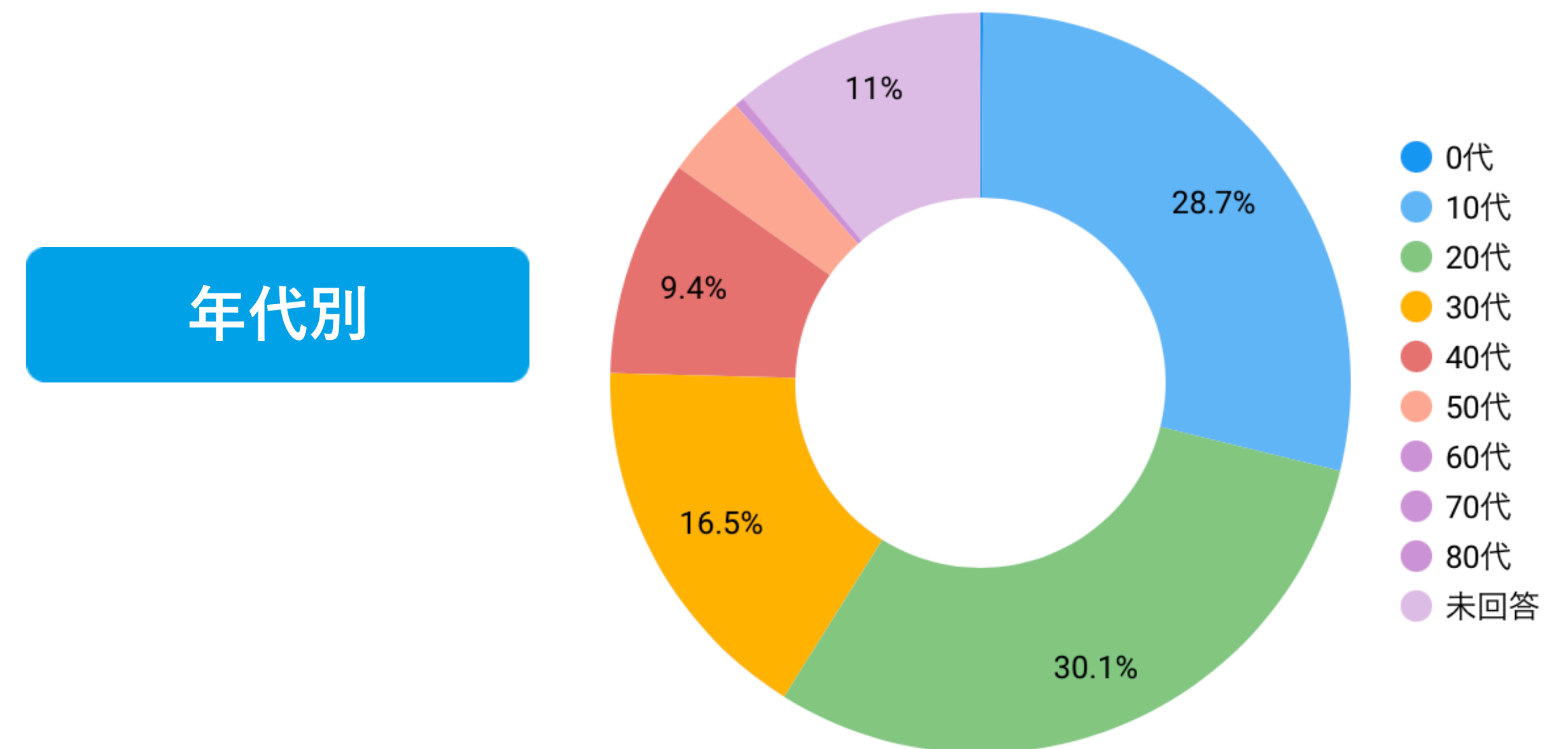
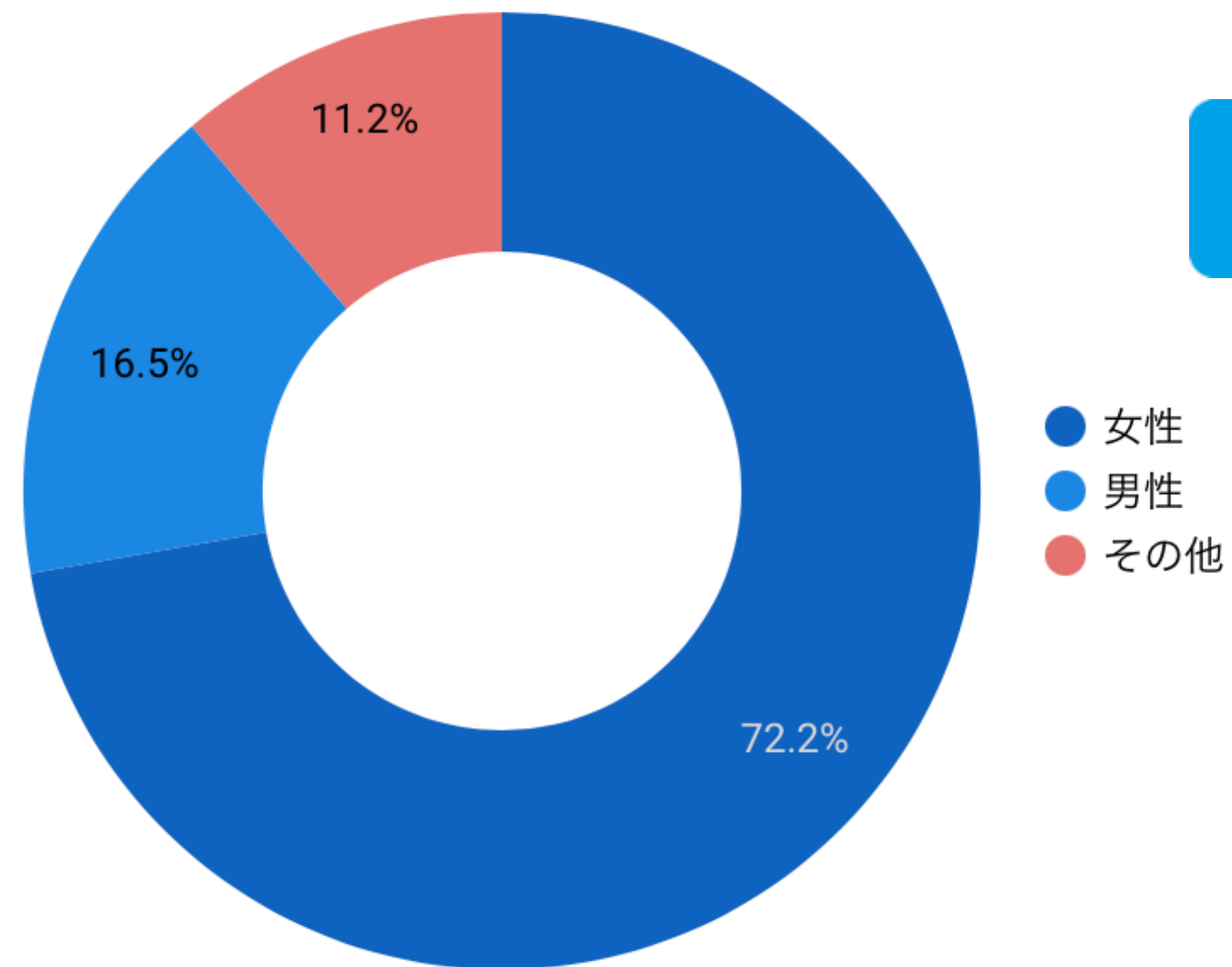


# 相談情報分析結果

期間：2021年4月1日-8月18日  
n=73,137

2020年3月の開設以来、相談件数614,329件、受信メッセージ数24,858,897件。

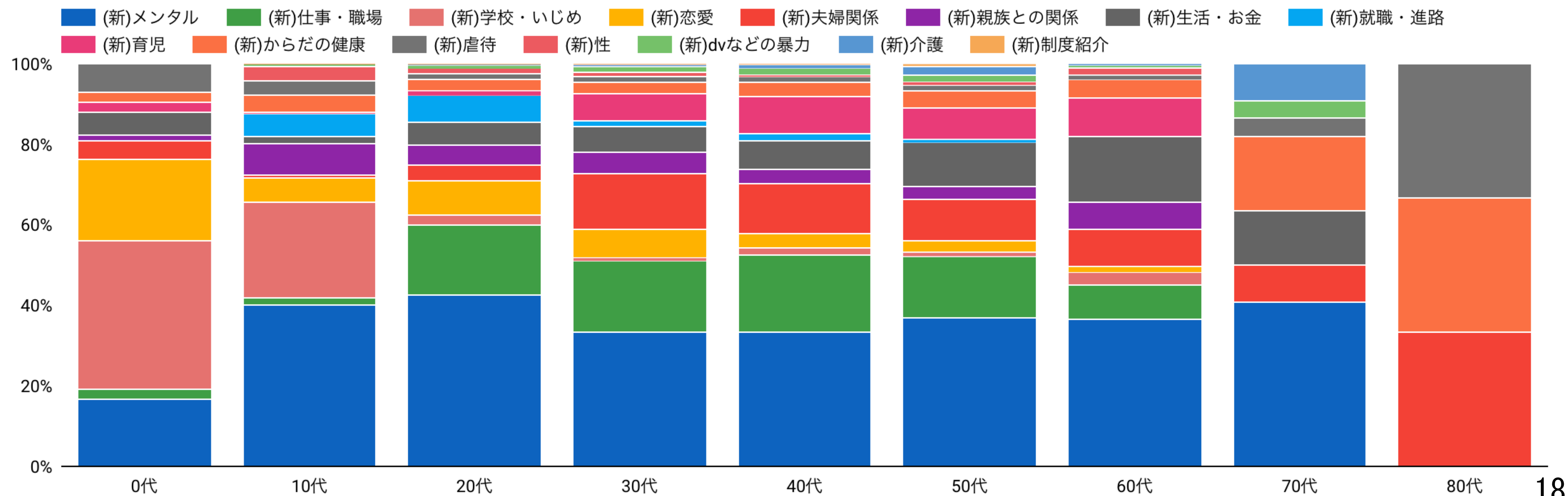
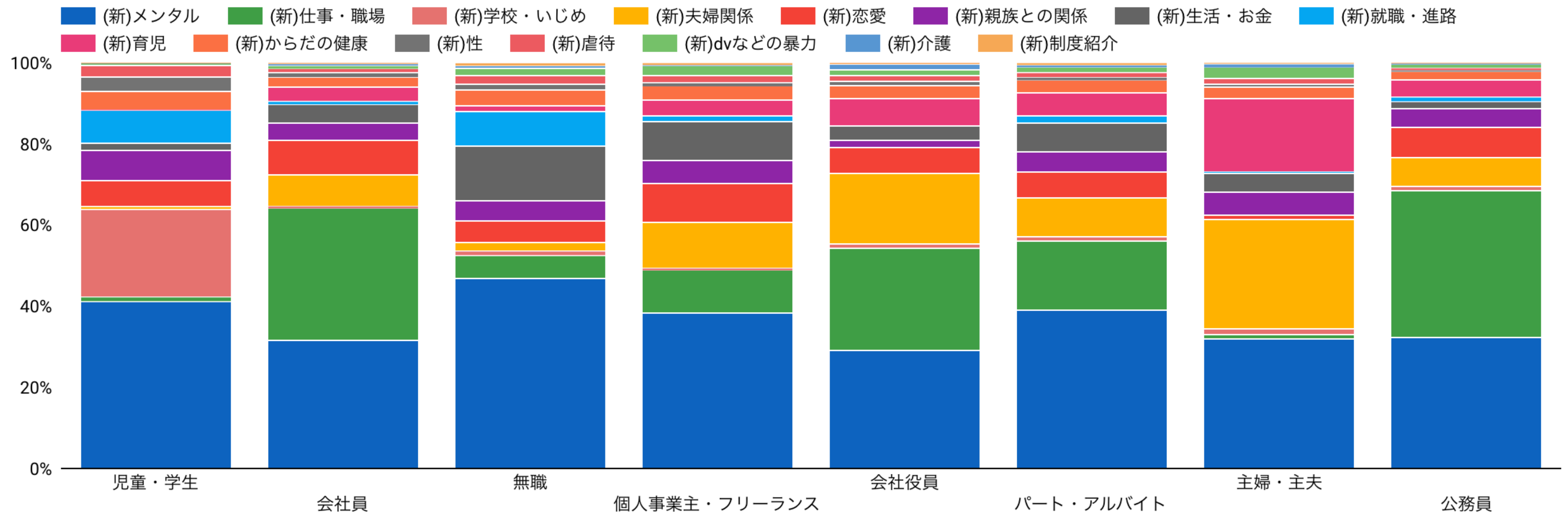
期間：2020年3月10日-2023年4月10日





# 職業別・年代別相談内容

期間：2021年4月1日-8月18日  
n=73,137



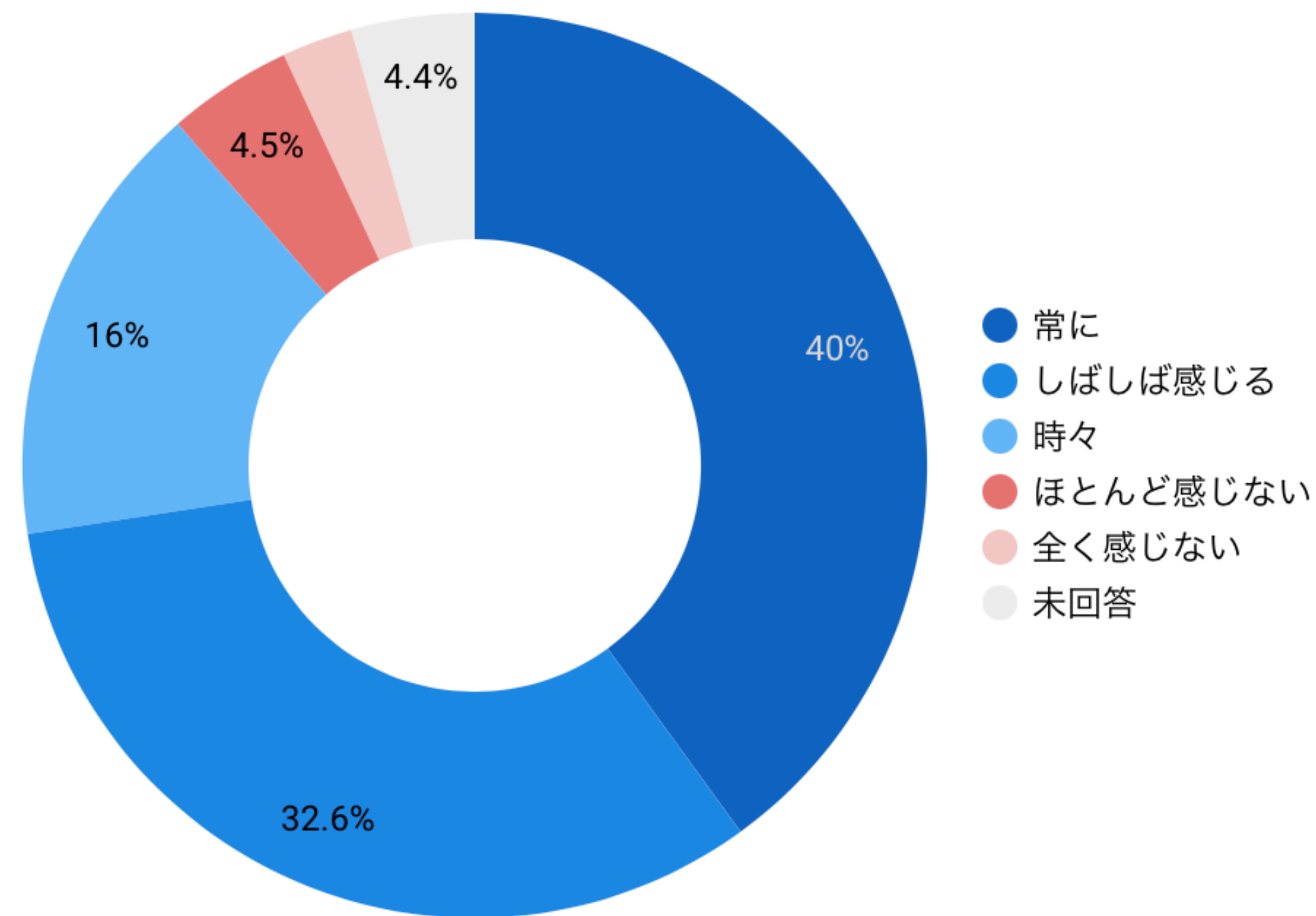
# 孤独感の頻度

期間：2021年4月1日-8月18日

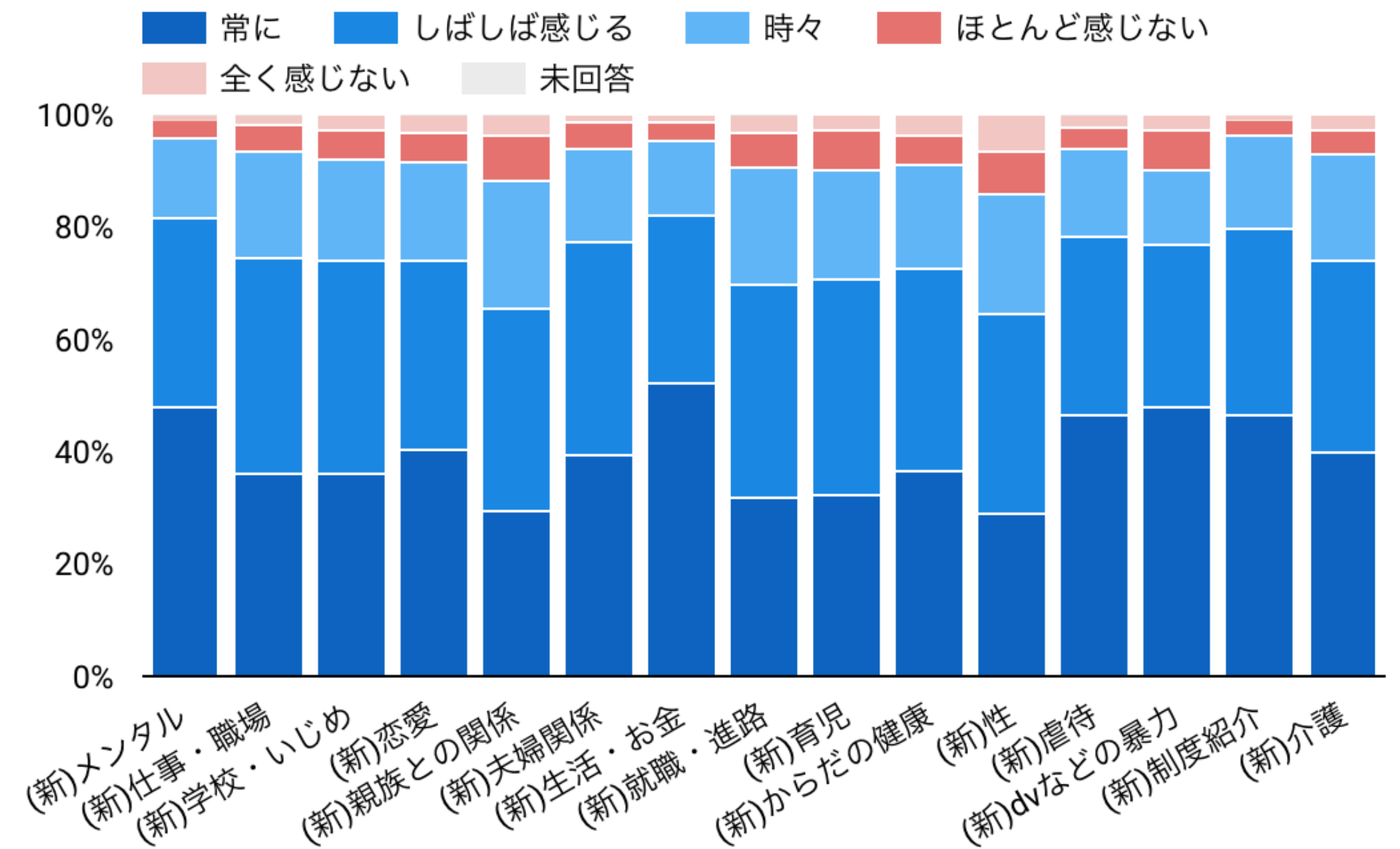
n=73,137

設問：あなたはどのくらいの頻度で孤独を感じますか。

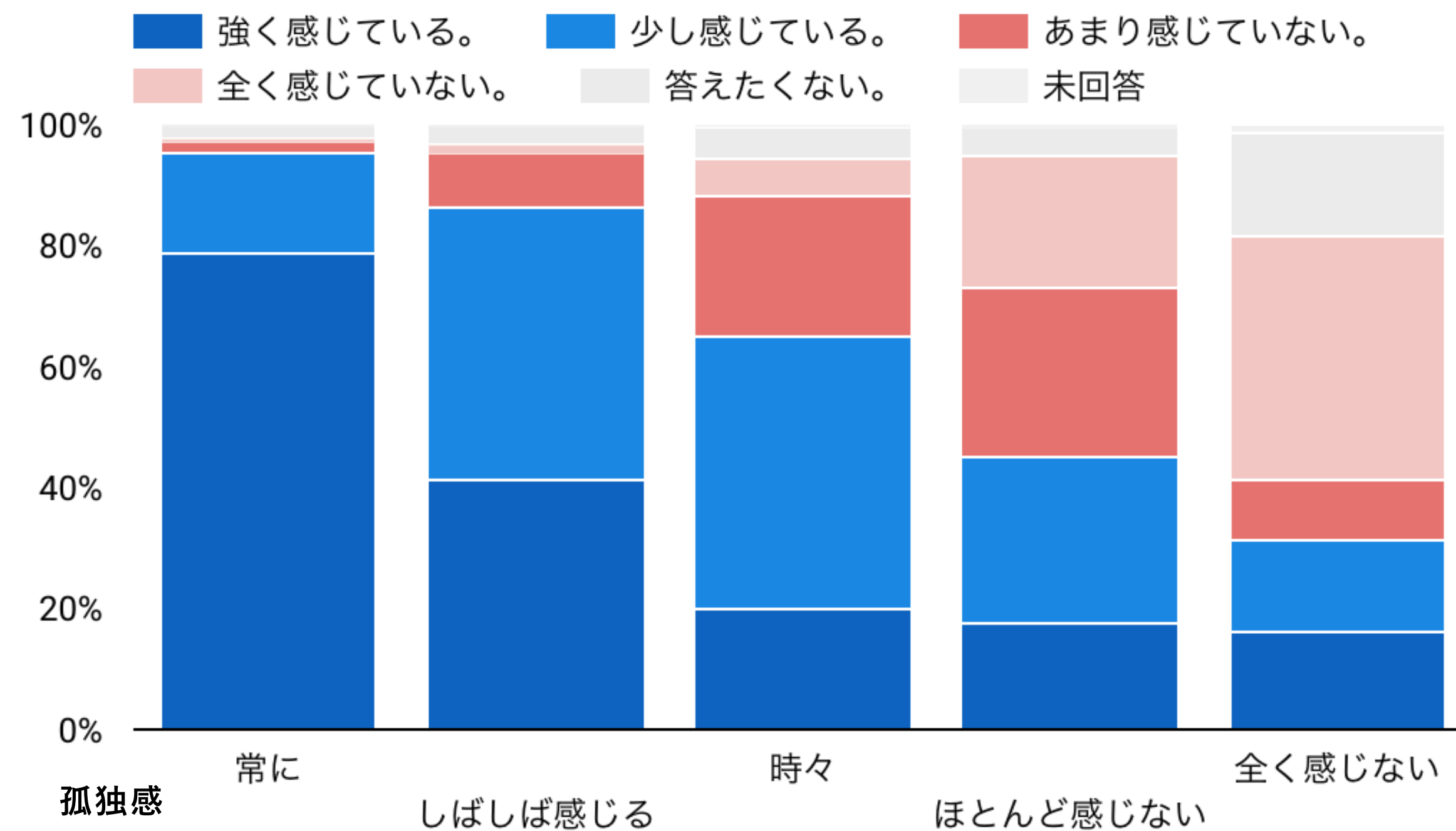
## 孤独感の頻度



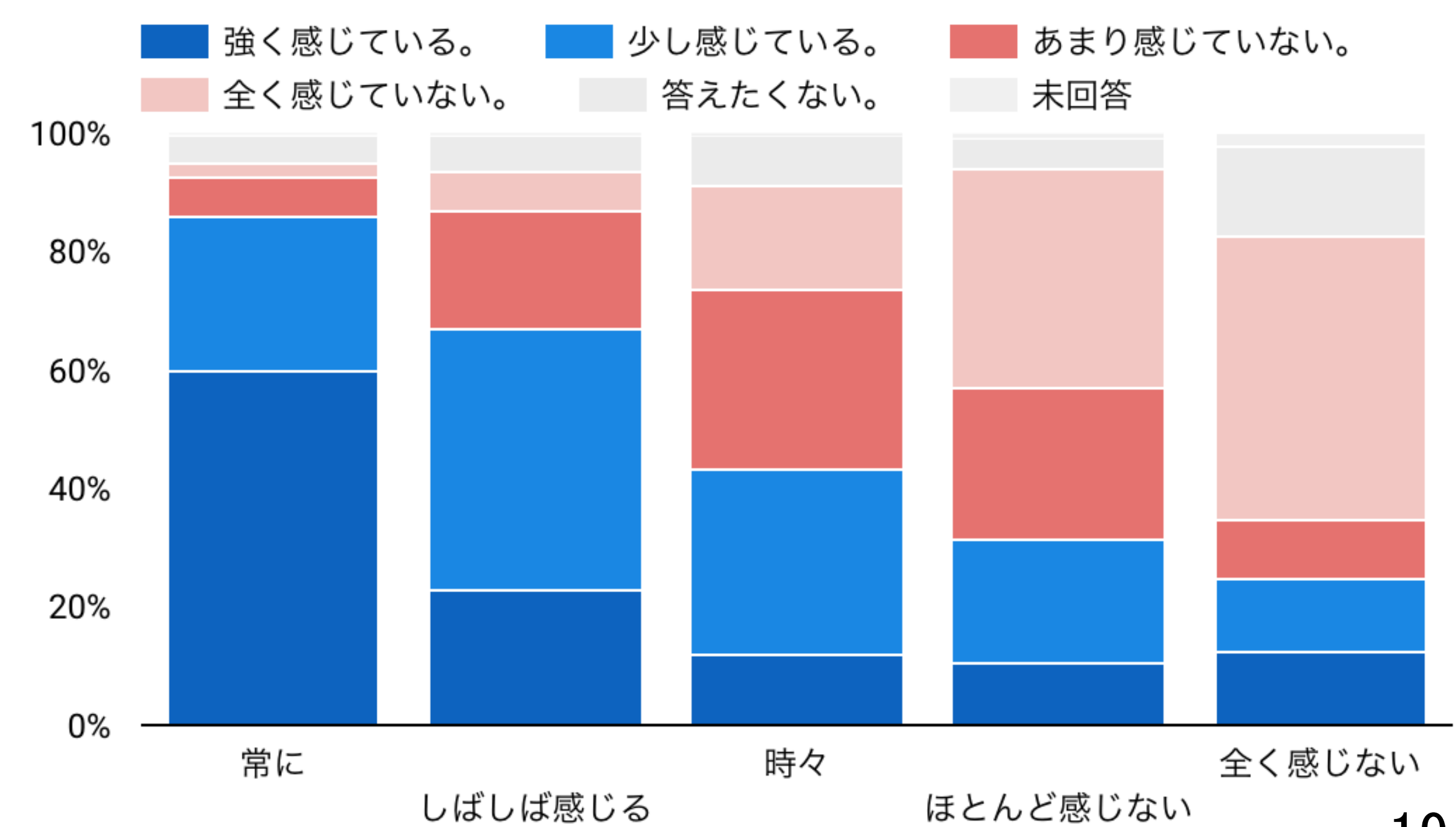
## 孤独感の頻度（相談内容別）



## 希死念慮×孤独感



## 自殺念慮×孤独感

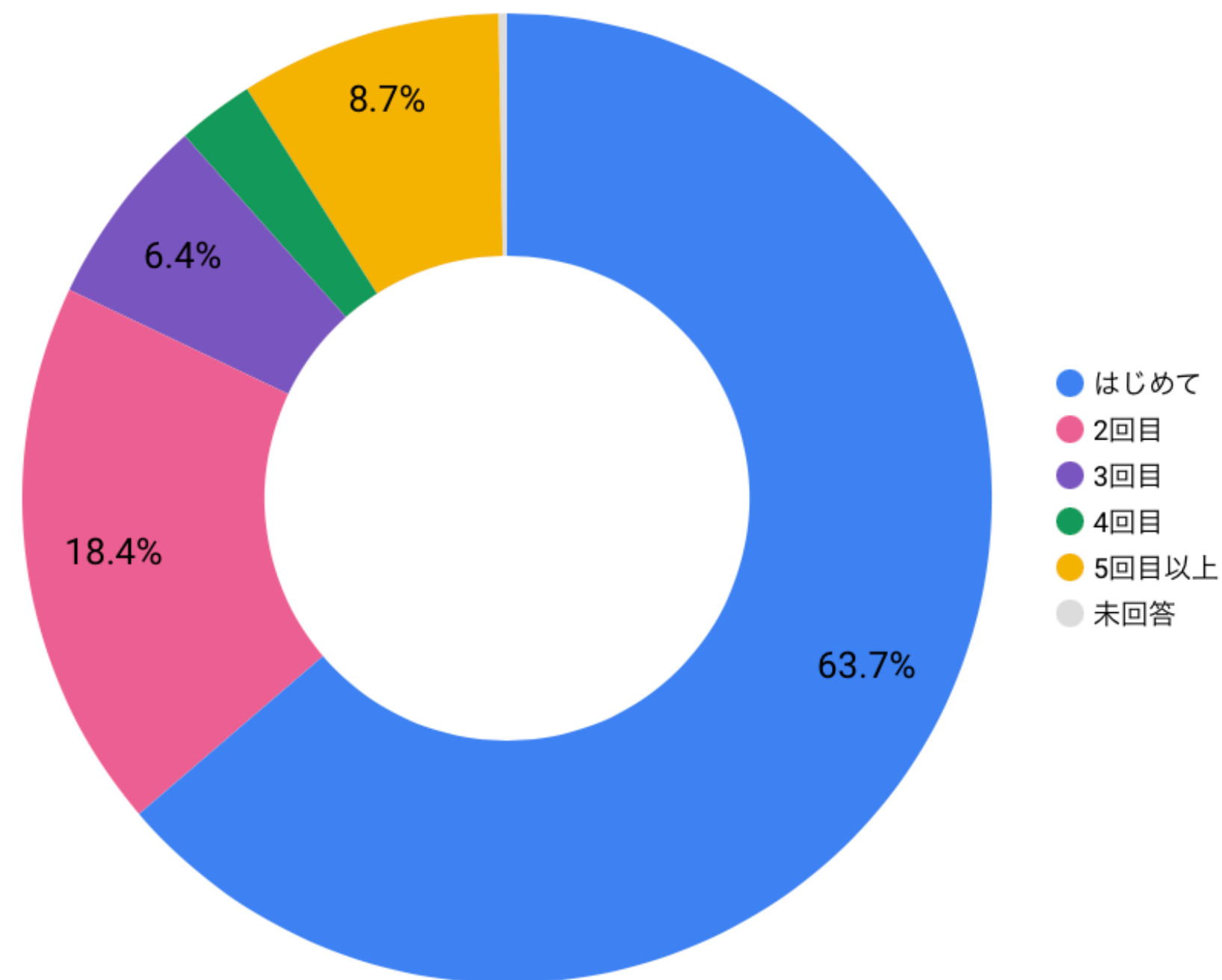




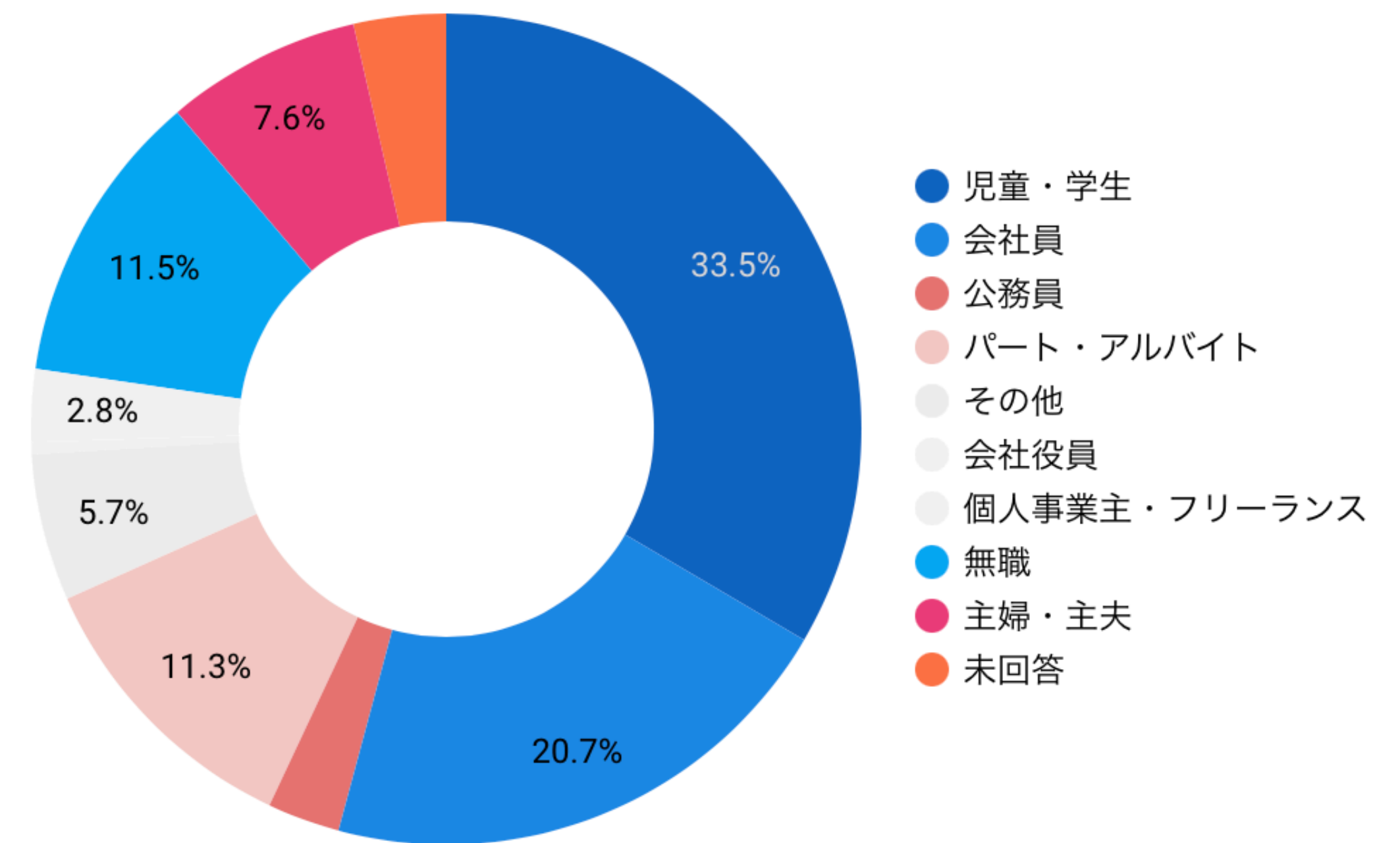
# 基礎情報

期間：2021年4月1日-8月18日  
n=73,137

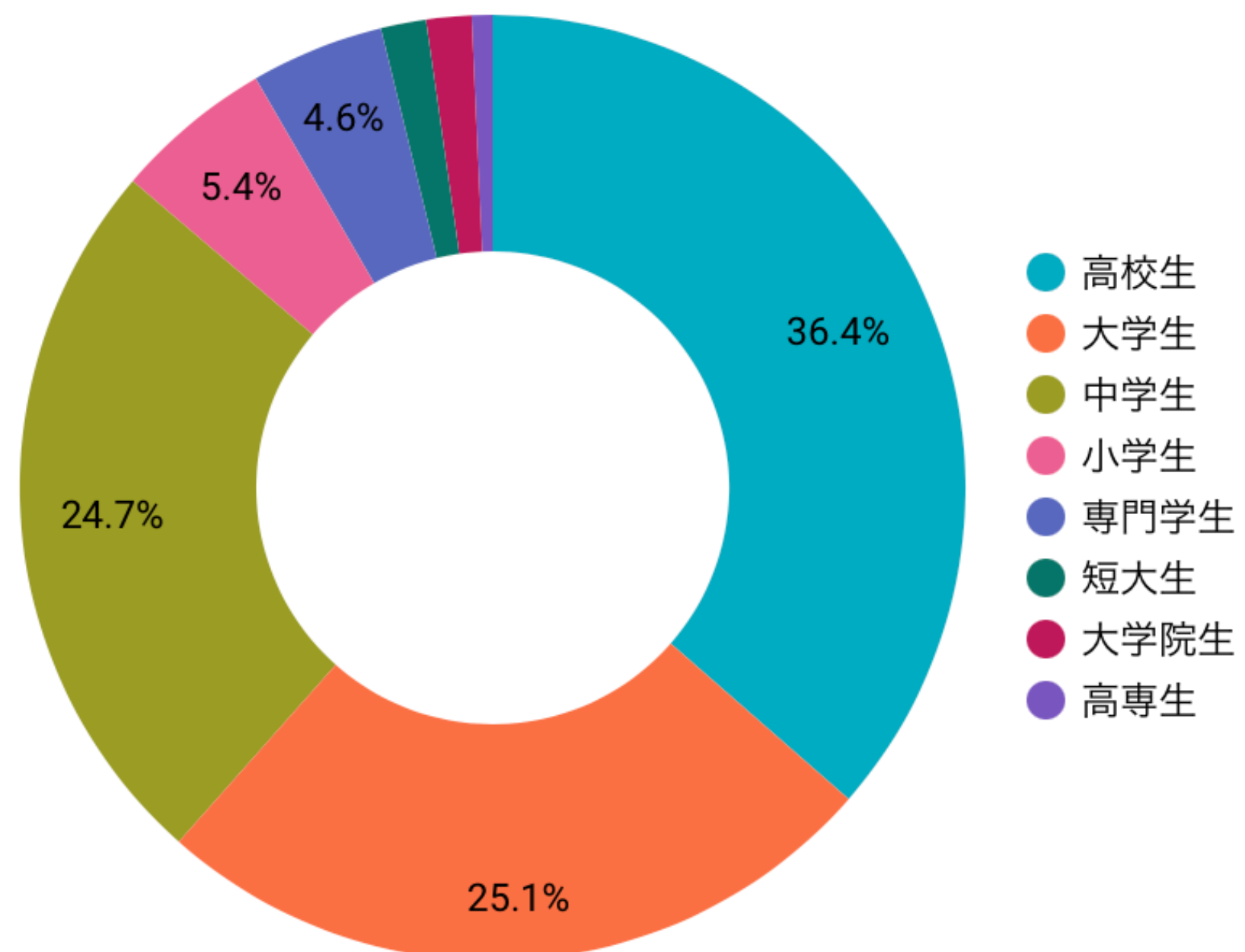
## 相談の利用経験



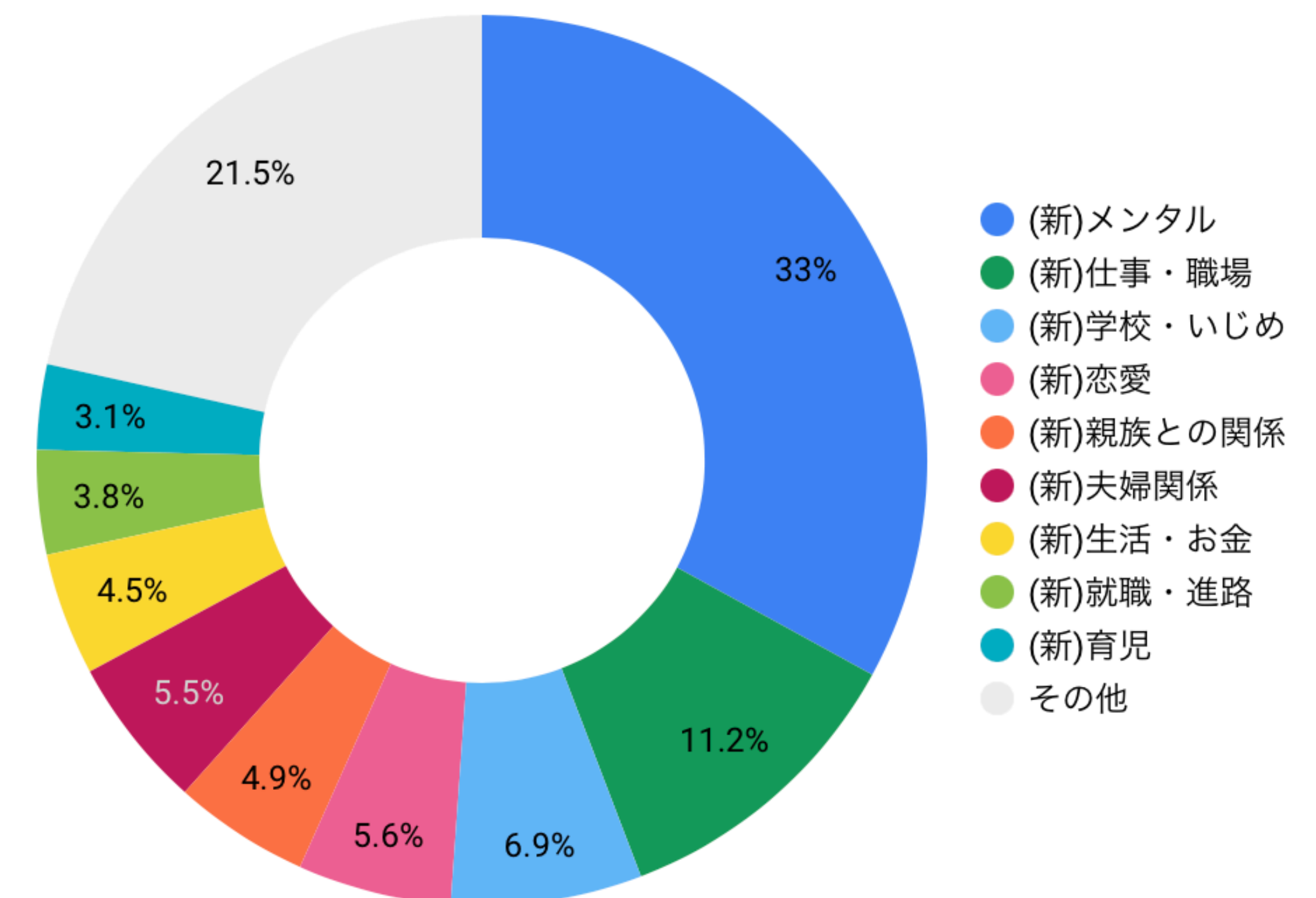
## 職業



## 児童・学生の内訳



## 相談内容の内訳





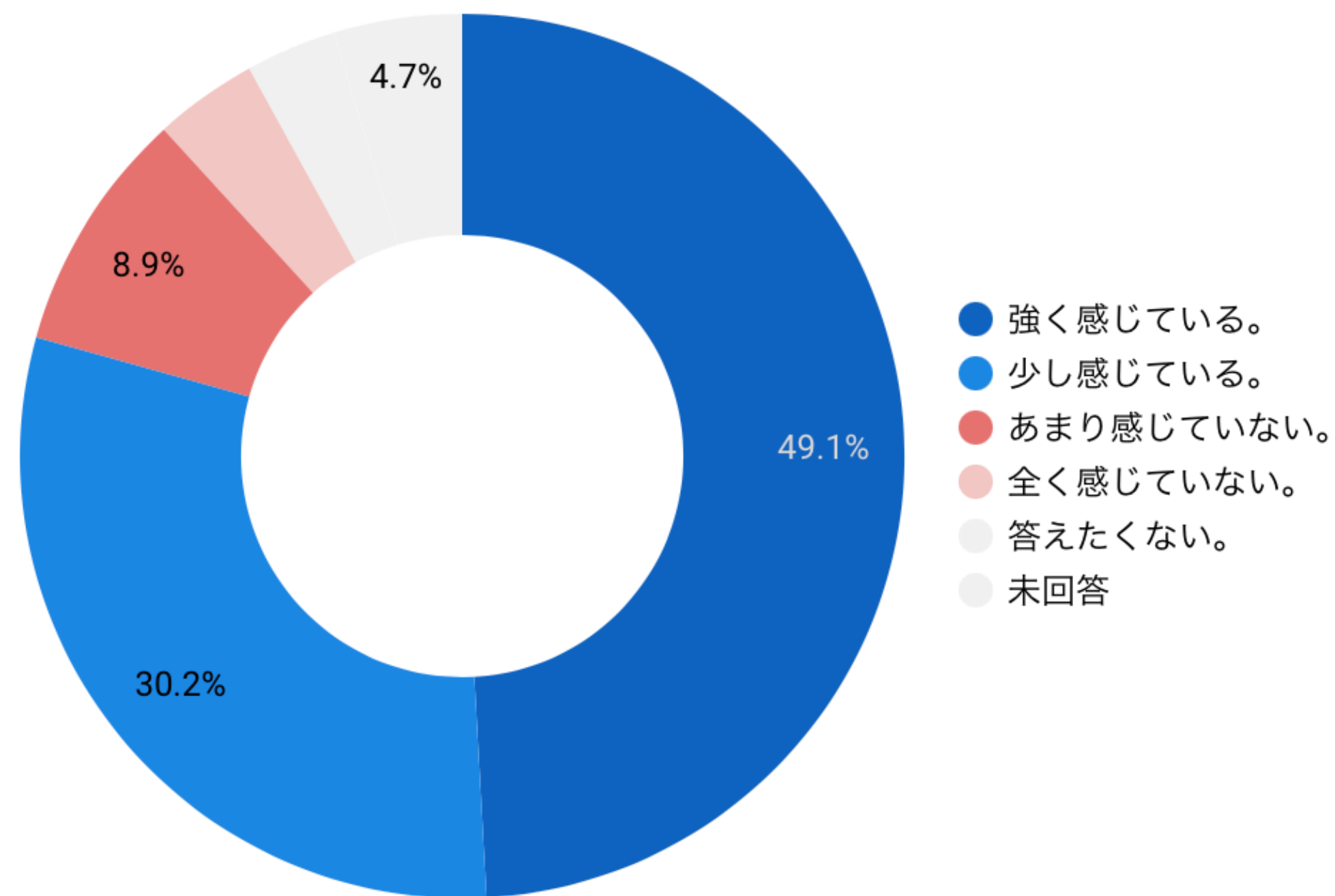
# 希死念慮の強さ

期間：2021年4月1日-8月18日

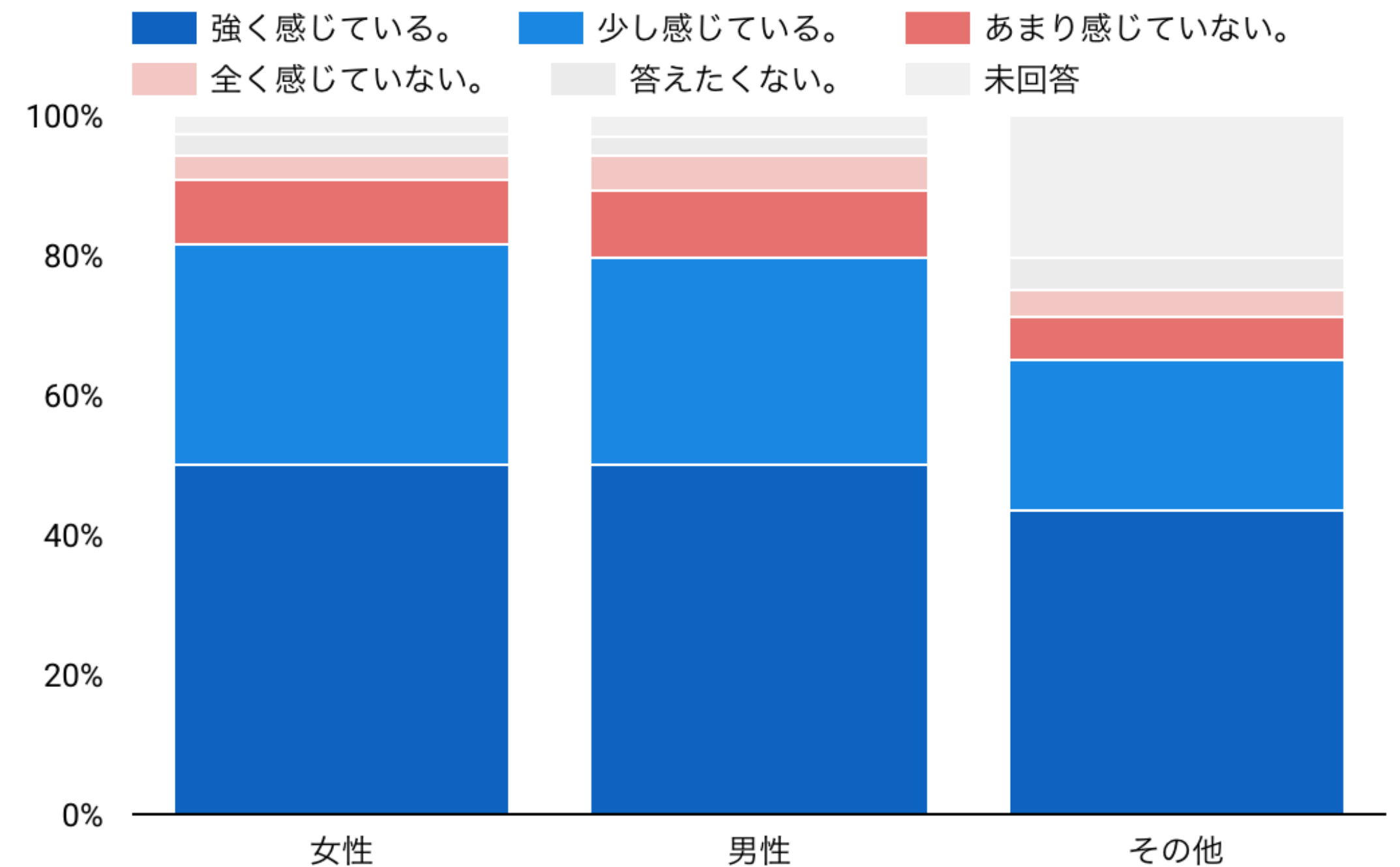
n=73,137

設問：いま、「もういなくなっていきたい」というお気持ちを感じておられますか。

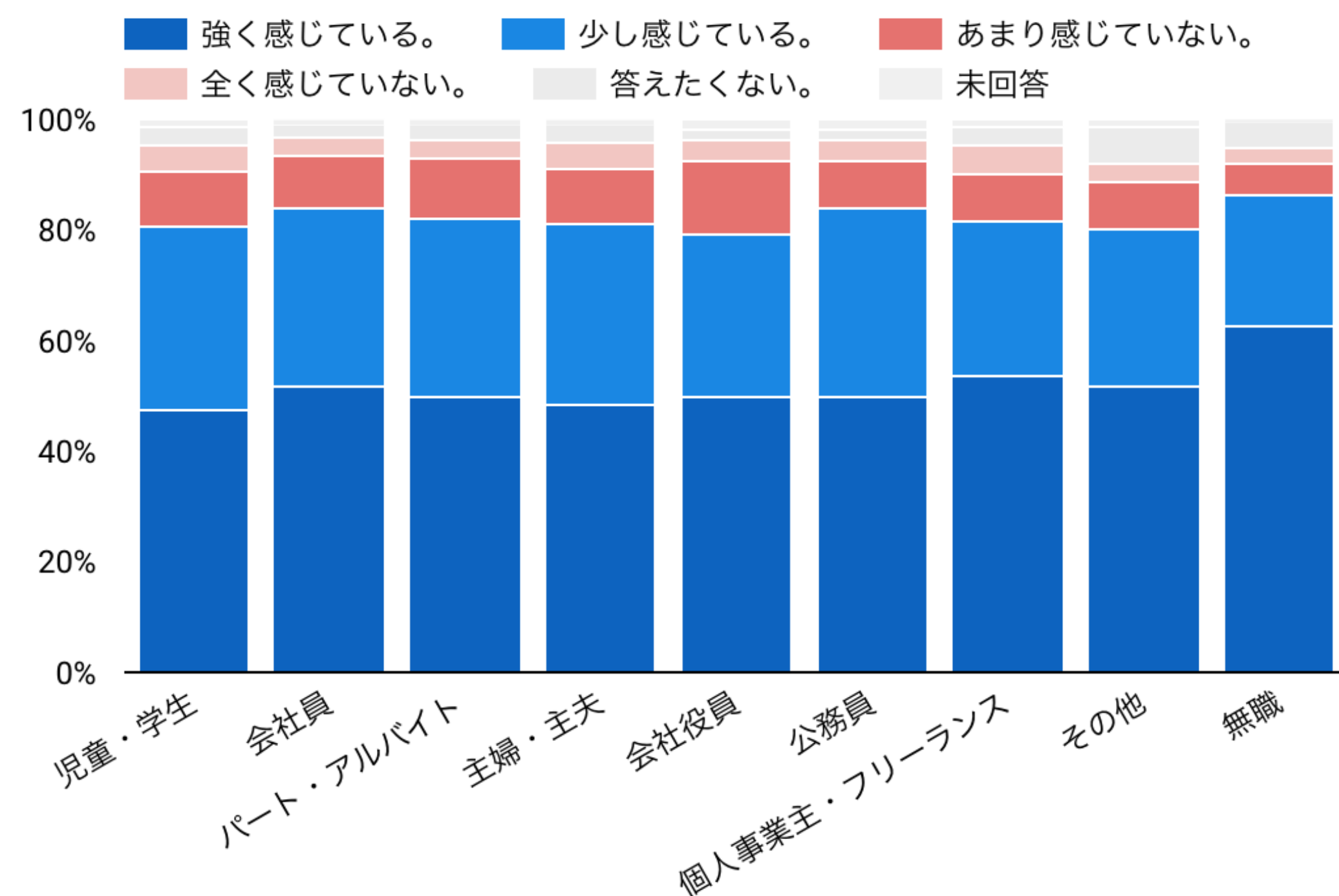
## 希死念慮の強さ



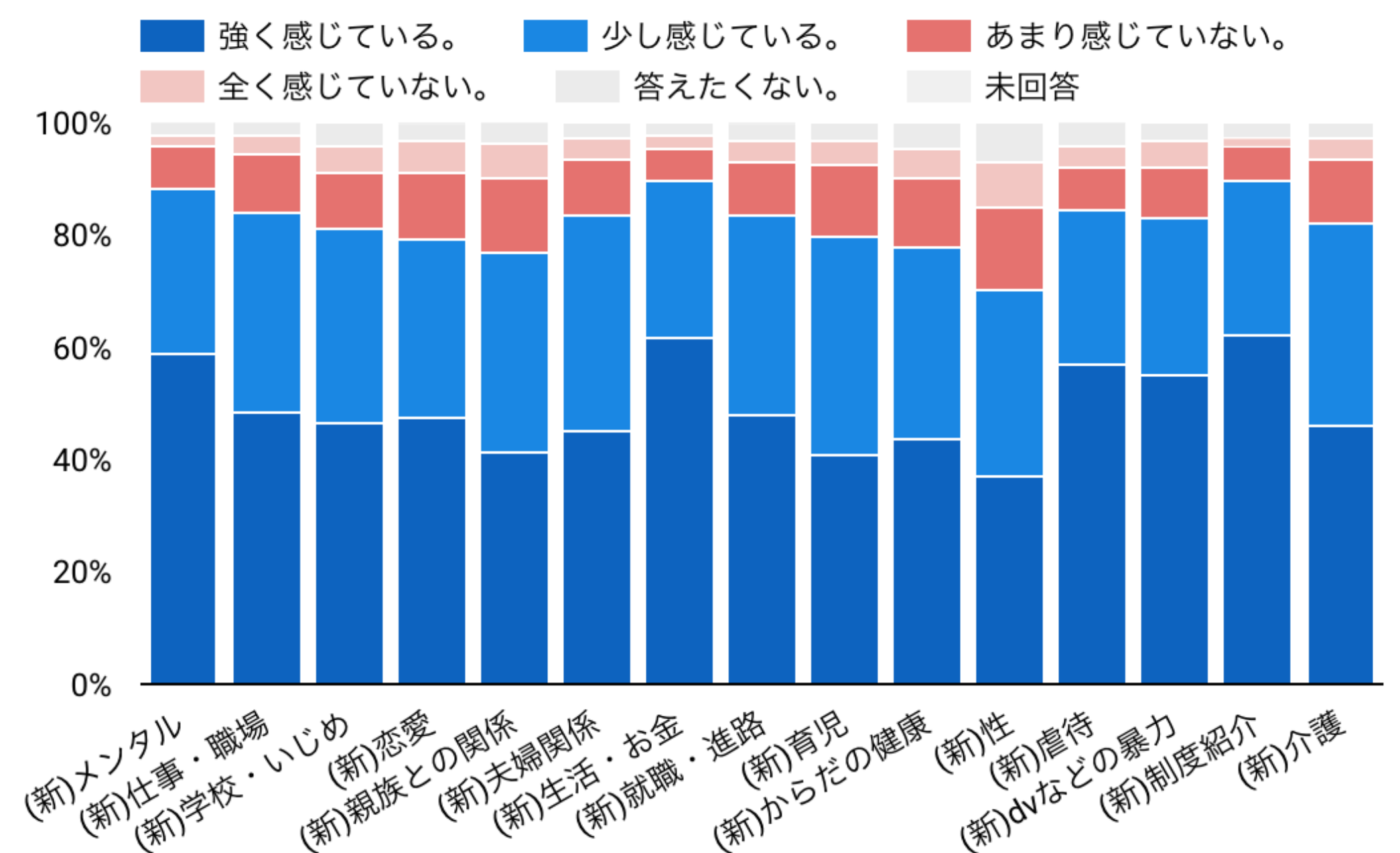
## 希死念慮の強さ(性別)



## 希死念慮の強さ(職業別)



## 希死念慮の強さ(相談内容)



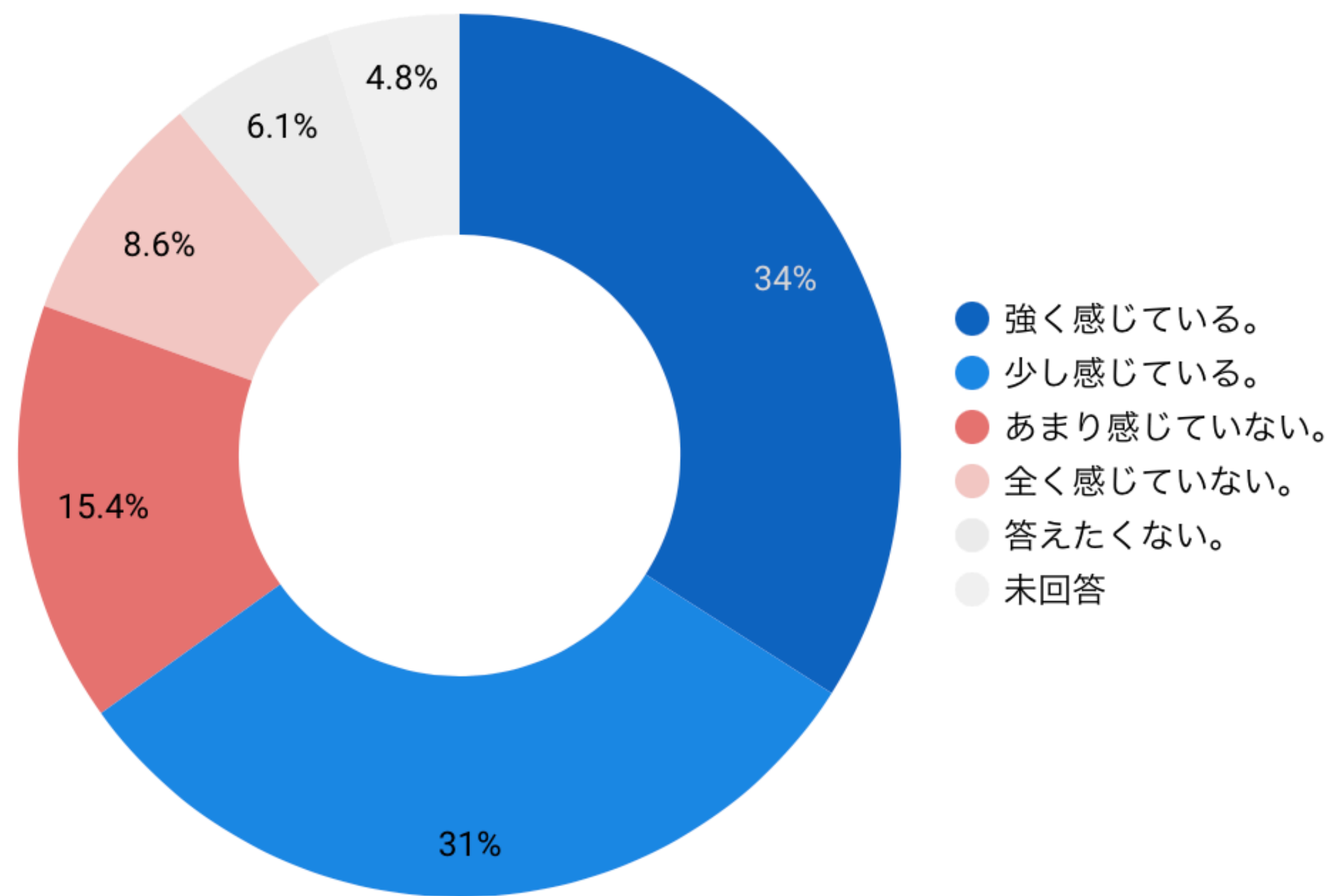
# 自殺念慮の強さ

期間：2021年4月1日-8月18日

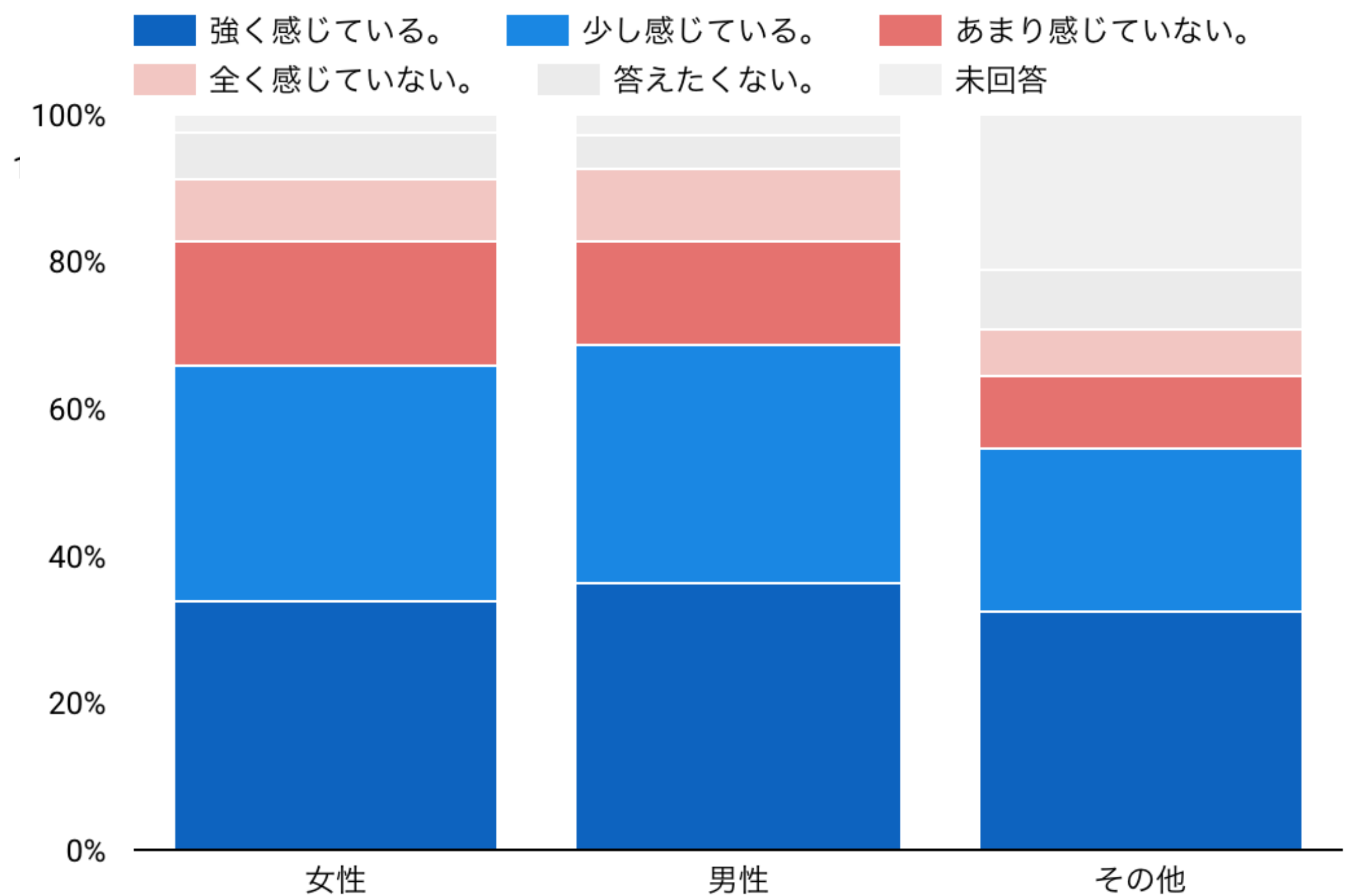
n=73,137

設問：いま「死にたい」というお気持ちは感じていますか。

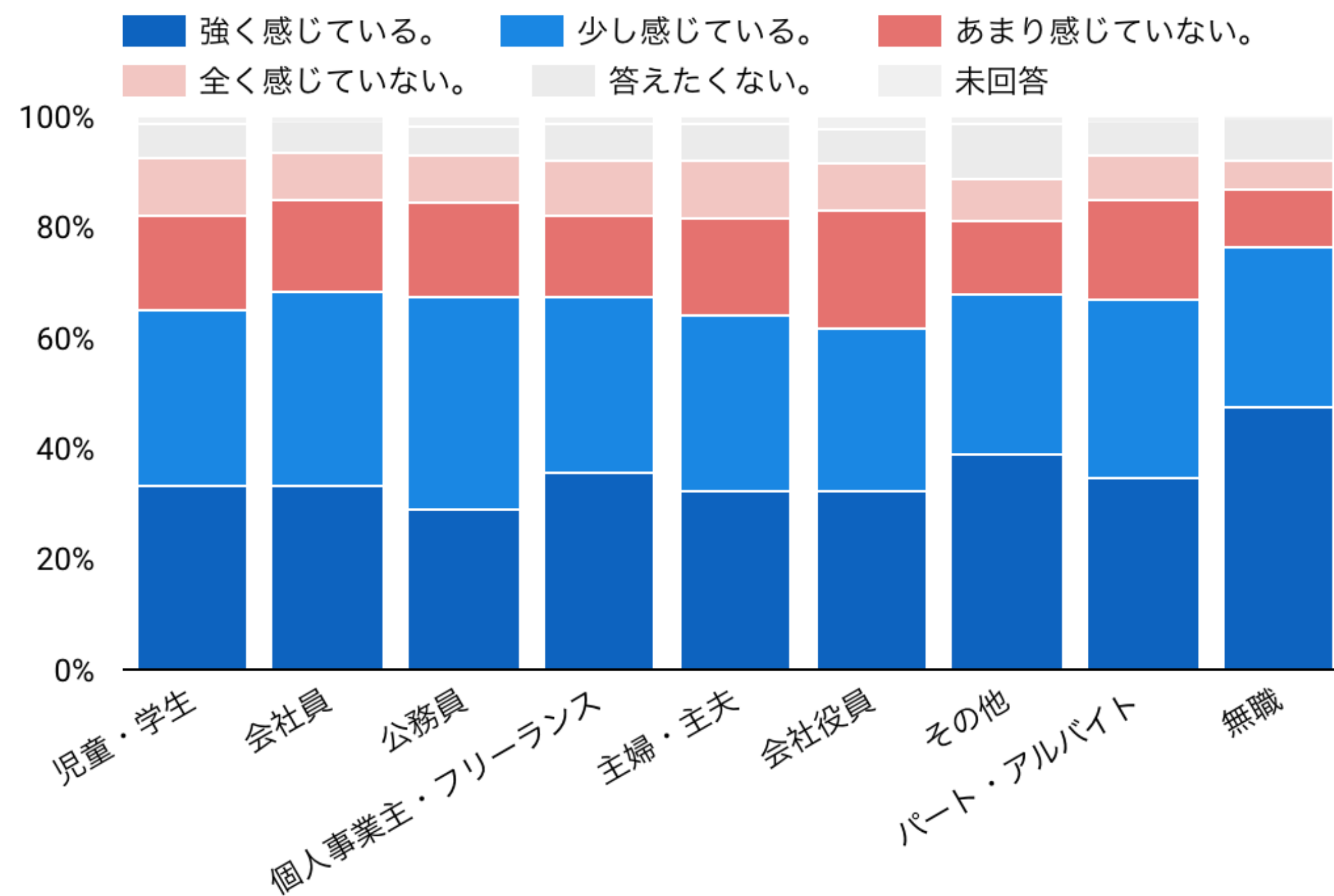
## 自殺念慮の強さ



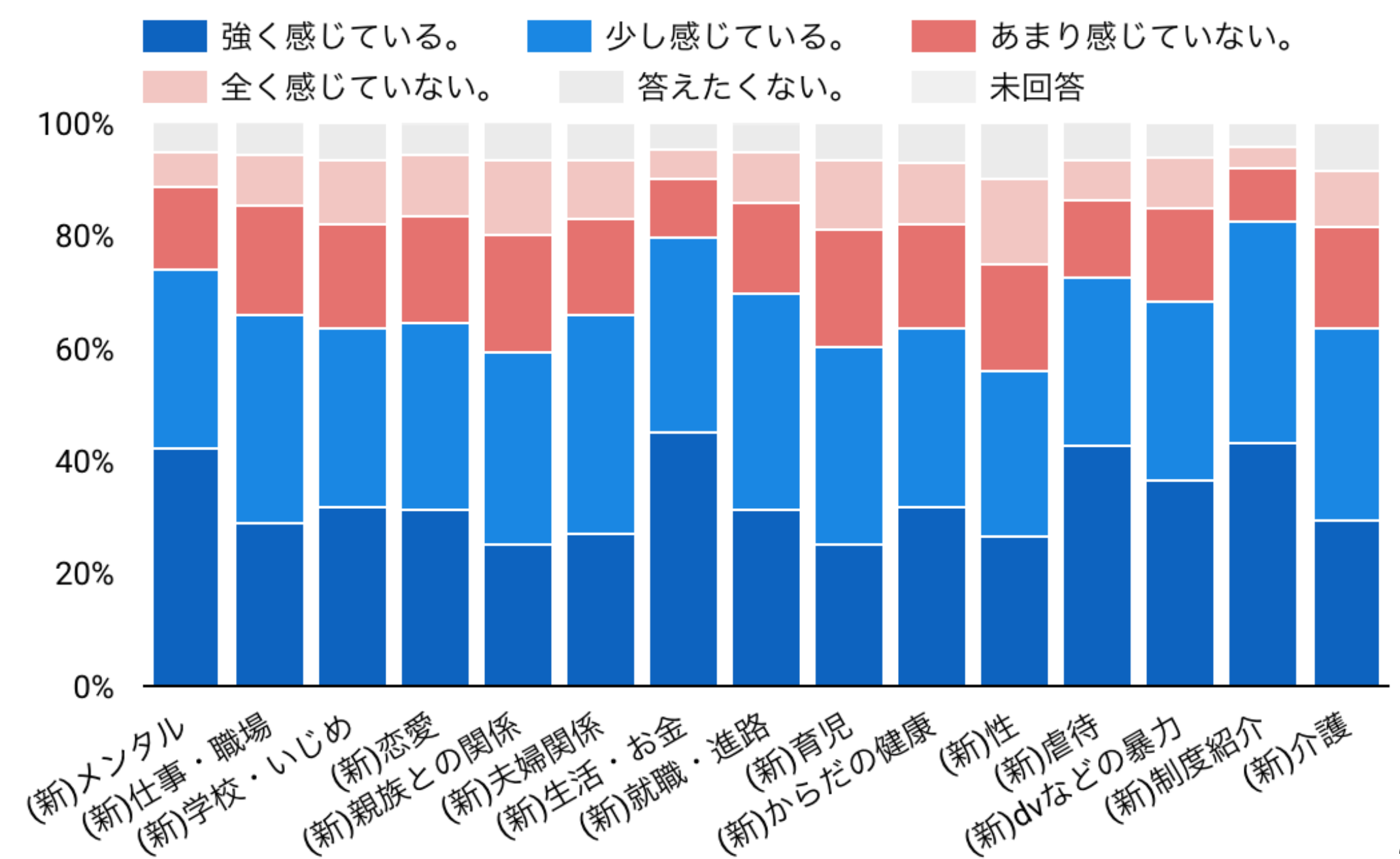
## 自殺念慮の強さ(性別)



## 自殺念慮の強さ(職業別)



## 自殺念慮の強さ(相談内容)



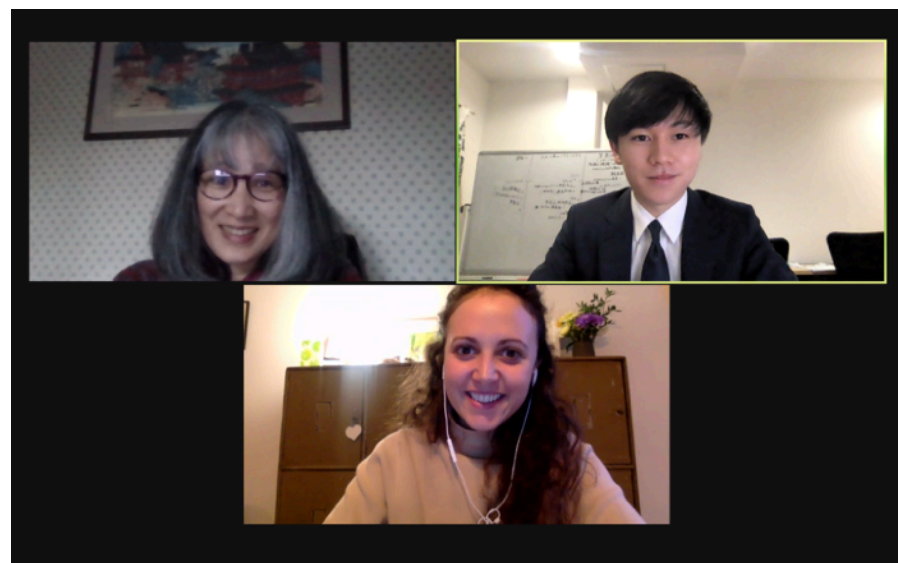


# 孤独対策の政策的枠組みづくり

日本では政策概念すら存在していなかった「孤独対策」の実現に向けて昨年末から政府・与野党への要望活動を開始。

2020年秋

英国の政府や民間関係者からのヒアリング



2020年12月1日

与野党に提言書を提出



2020年12月3日

加藤内閣官房長官に提言書を提出



2020年12月4日

加藤長官が定例会見にて政府として初めて「孤独」に言及。



2021年1月10日

自民党が孤独対策勉強会の設立を決定



2021年1月21日

菅総理が衆議院本会議で「『望まない孤独』の問題に取り組んでいく」と発言。



2021年1月25日

自民党が孤独対策勉強会第1回会合を開催。講師を務める。



2021年2月12日

孤独・孤立対策担当大臣が設置され、坂本一億総活躍担当大臣が兼務に。



2021年2月25日

大空が政府が孤独・孤立対策フォーラムを官邸で開催。メンバーとして参加。



2021年2月以降

様々な形で孤独対策に参画

